



2017-18年度

国際ロータリー第2680地区

地区大会記録誌

～ロータリアン・ロータリーファミリー、みんなで楽しむ地区大会～



〔日時〕2018年3月10日(土)・3月11日(日)

〔場所〕神戸ポートピアホテル

国際ロータリー会長メッセージ



2017-18 年度
国際ロータリー会長

イアン H. S. ライズリー

朋友ロータリアンならびに来賓の皆さま

2017-18年度地区大会によろしくお越しくございました。地区大会は、地区の熱心なロータリアンと出会い、ロータリーの名の下に素晴らしい活動を共に成し遂げていく方法を学ぶ機会となります。

1935年に、ポール・ハリスは次のようにつづっています。「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は、何度も何度も書き替えられなければならないでしょう」。私もハリスとまったく同感です。ハリスがこの言葉を書き残して以来、世界は大きく変わり、ロータリーも大きく変わりました。今日、従来の方式による例会に加え、奉仕活動により力を入れるクラブもあります。大学を卒業して間もないロータリアンや、キャリアを踏み出したばかりのロータリアンに出会うこともあります。会員の2割以上が女性であり、その数はさらに増え続けています。クラブと地域社会のために尽くす強くて革新的なリーダーがいてこそ、ロータリーが進化し、変化することができるのです。

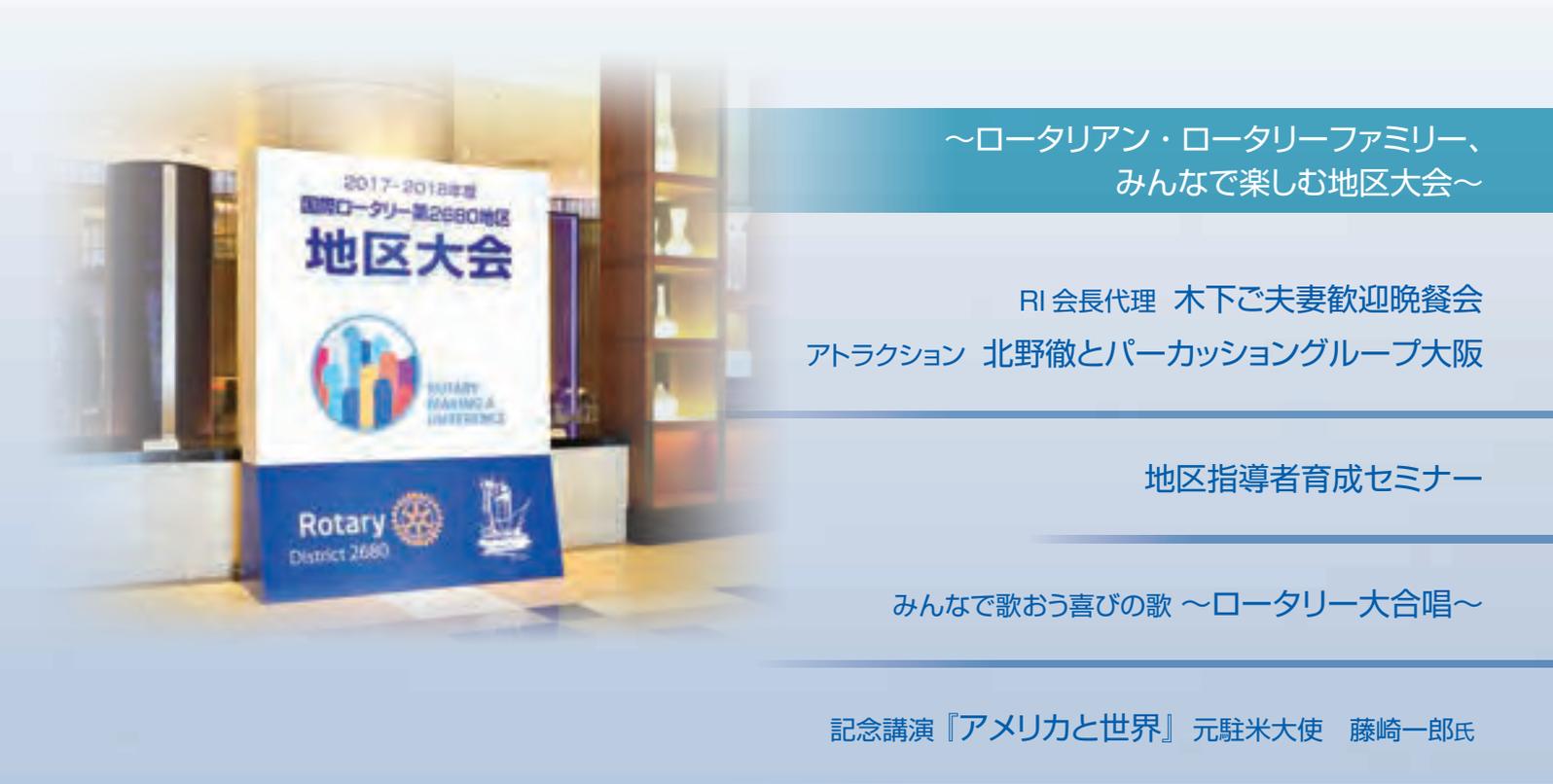
ロータリーで私たちは、同じ地域社会に住む人、そして世界の裏側にいる人を助けることの重要性を認識しています。子どもに読み書きを教え、ポリオのワクチンを投与し、医者がない地域に医療を届けるとき、私たちの世代、そして将来の世代が住むこの世界にインパクトを与えることができます。

貴地区の大会が感動に満ち、実り多いものとなりますことを願っております。ますますのご発展とご活躍をお祈りするとともに、「ロータリー：変化をもたらす」の精神の下、奉仕を通じて素晴らしいことを成し遂げていくと確信しております。

心を込めて

A handwritten signature in black ink, reading "Ian H. S. Rieley". The signature is written in a cursive, flowing style.

2017-18年度 国際ロータリー第2680地区大会



～ロータリアン・ロータリーファミリー、
みんなで楽しむ地区大会～

RI会長代理 木下ご夫妻歓迎晩餐会
アトラクション 北野徹とパークッショングループ大阪

地区指導者育成セミナー

みんなで歌おう喜びの歌 ～ロータリー大合唱～

記念講演『アメリカと世界』元駐米大使 藤崎一郎氏



エクスカーショ



会長・幹事会 / 地区指導者育成セミナー



ロータリーファミリーの集い



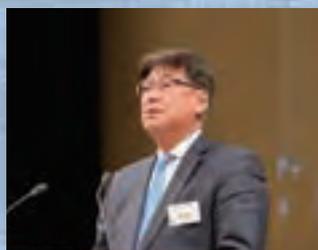
大会特別委員会



RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



本会議





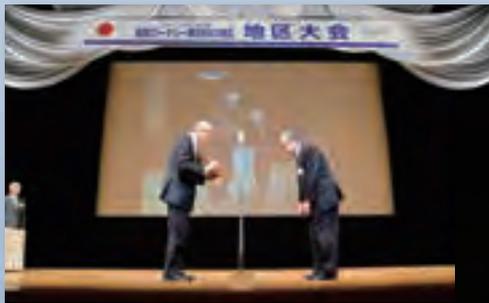
みんなで歌おう喜びの歌 ～ロータリー大合唱～／吹奏楽演奏



記念講演「アメリカと世界」



表彰





會員家族懇親会



目次

Contents

国際ロータリー会長メッセージ	2	RI 会長代理挨拶並びにRI 現況報告	30
エクスカッション／	4	RI 理事ご紹介	33
会長・幹事会／地区指導者育成セミナー／		RI 理事挨拶	34
ロータリーファミリーの集い／		ガバナー地区現況報告	35
大会特別委員会		みんなで歌おう喜びの歌～ロータリー大合唱～	
RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	5	ロータリーの友情と輪 ～世界をつなぐ～	37
本会議	6	吹奏楽演奏	
みんなで歌おう喜びの歌		滝川第二高等学校吹奏楽部	38
～ロータリー大合唱～／吹奏楽演奏	7	記念講演	
記念講演「アメリカと世界」／	8	藤崎 一郎氏	39
表彰		大会特別委員会報告	40
会員家族懇親会	10	大会登録委員会報告	
		大会信任状委員会報告	
目次	11	大会決議案上程	
		大会決議案採択	
大会第1日目プログラム	12	ガバナー指名委員会報告	
大会第2日目プログラム	13	地区大会決議	41
友愛の広場／フロアマップ	14	ガバナーエレクト挨拶	43
会長・幹事会		ガバナーノミニー挨拶	44
挨拶および報告	15	参加クラブ代表挨拶	45
会計報告	17	次年度ホストクラブ挨拶	46
地区指導者育成セミナー	18	RI 会長代理所感	47
特別講話その1		ガバナー謝辞	48
足立 功一氏	18	RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会および本会議 司会者	
特別講話その2		／会員家族懇親会アトラクション	49
「ロータリーで学んだリーダーシップ」		表彰	
木下 光一氏	20	2016-17年度 表彰	50
特別講話その3		2017-18年度 表彰	55
「我が心のロータリー」		参加者	56
中村 尚義氏	22	物故会員	60
本会議		大会役員・大会特別委員会	61
大会実行委員長開会の挨拶	24	実行委員会組織	62
ガバナー挨拶	25	編集後記	63
ホストクラブ会長挨拶	26		
兵庫県知事祝辞	27		
神戸市長祝辞	29		

◆大会第1日目プログラム

3月10日(土)

友愛の広場

会場：大輪田の間前ロビー

3月10日 販売：13:00～18:00
3月11日 販売：9:00～17:00

エクスカージョン

12:30 神戸ポートピアホテル出発
ホテルオークラ神戸～灘の酒蔵見学(福寿・酒心館)
16:30 神戸ポートピアホテル到着

大会特別委員会

会場：南館地下1階

13:00 大会登録委員会
大会信任状委員会
大会決議委員会
13:25 地区資金委員会
ガバナー指名委員会
13:50 各委員会閉会

会長・幹事会(14:00～14:40)

会場：南館1階 大輪田の間

開 会	司会:代表幹事	矢坂 誠徳	神戸西
RI会長代理入場			
開会点鐘	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
RI会長代理紹介	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨拶	RI会長代理	木下 光一	大分城西
挨拶および報告	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨拶	地区研修リーダー	中村 尚義	洲 本
決算報告	直前会計長	佐藤 肇	尼崎中
監査報告	直前会計監査	西村 近司	尼崎北
承認	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
閉 会			

地区指導者育成セミナー(15:00～17:00)

会場：南館1階 大輪田の間

開 会	司会:副代表幹事	山口 宰	神戸西
特別講話その1	2017年RI研修リーダー	足立 功一	釧路北
特別講話その2	RI会長代理	木下 光一	大分城西
特別講話その3	地区研修リーダー	中村 尚義	洲 本
閉会点鐘	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西

ロータリーファミリーの集い(14:30～18:00)

会場：南館1階 大輪田の間

司会：RYLA学友会

開 会			
開会の挨拶	青少年奉仕委員長	坂東 隆弘	柏 原
挨拶	RI会長代理	木下 光一	大分城西
挨拶	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
第1部			
		パネルシンポジウム	
関係団体紹介			
第2部			
		乾 杯	
		各団体パフォーマンス	
		挨拶	
閉 会			

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会(17:30～19:30)

会場：南館1階 大輪田の間

司会：矢坂 まり

開 宴			
RI会長代理・令夫人入場			
アトラクション		北野徹とパーカッショングループ大阪	
挨拶	地区大会実行委員長	村野 利昭	神戸西
ご来賓紹介	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨拶	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨拶	RI会長代理	木下 光一	大分城西
乾 杯	RI理事	斎藤 直美	豊 田
食事・歓談			
挨拶	ホストクラブ会長	堺 充廣	神戸西
閉 宴			

◆大会第2日目プログラム



3月11日(日)

本会議 (10:00~16:40)

ポートピアホール

	司会:	前田 勝彦 矢坂 まり	神戸西
開 会			
開会点鐘	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
日本国歌斉唱			
奉仕の理想斉唱	ソングリーダー	三木麻差子	神戸西
挨 拶	大会実行委員長	村野 利昭	神戸西
挨 拶	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨 拶	ホストクラブ会長	堺 充廣	神戸西
来賓紹介	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
知事祝辞	兵庫県知事	井戸 敏三	
市長祝辞	神戸市長	久元 喜造	
パストガバナー、地区委員長紹介	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
参加クラブ、ロータリーファミリー紹介			
物故会員黙祷			
挨拶並びにRI現況報告	RI会長代理	木下 光一	大分城西
RI理事紹介	RI理事エレクト	三木 明	姫 路
挨 拶	RI理事	斎藤 直美	豊 田
地区現況報告	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
.....昼 食(12:00~13:00).....			
みんなで歌おう喜びの歌 ~ロータリー大合唱~			
	指揮	朝比奈千足	大 阪
	歌	2680地区ロータリー合唱団	
	ナレーション	飯田美奈子	神戸西
吹奏楽演奏		滝川第二高等学校吹奏楽部	
記念講演「アメリカと世界」	元駐米大使	藤崎 一郎	
.....休 憩 (15:00~15:15).....			

表 彰

大会登録委員会報告	委員長	今津 成生	神戸西
大会信任状委員会報告	委員長	室津 義定	尼崎中
大会決議案上程	委員長	丸尾 研一	神戸西神
大会決議案採決	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
ガバナー指名委員会報告	委員長	石丸鐵太郎	神戸南
ガバナーエレクト紹介	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨 拶	ガバナーエレクト	矢野 宗司	加古川映
ガバナーノミニ紹介	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨 拶	ガバナーノミニ	浅木 幸雄	神 戸
参加クラブ代表挨拶	神戸RC会長	中野 正徳	神 戸
次年度ホストクラブ発表	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
次年度ホストクラブ挨拶	次期代表幹事	多木 有一	加古川映
所 感	RI会長代理	木下 光一	大分城西
記念品贈呈	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
謝 辞	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
閉会点鐘	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西

会員家族懇親会(17:00~19:00)

南館1階 大輪田の間

	司会:	中島 典子 上根 学	神戸西 神戸西
開 宴			
RI会長代理ご夫妻入場			
挨 拶	ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
挨 拶	RI会長代理	木下 光一	大分城西
乾 杯	RI理事エレクト	三木 明	姫 路
アトラクション 『あの時! あの頃! あのメロデー!』		2680地区会員有志	
	歌	新美淳一とワイルドハンズ	
	バックバンド		
手に手つないで	ソングリーダー	三木麻差子	神戸西
挨 拶	代表幹事	矢坂 誠徳	神戸西
閉 宴			

◆友愛の広場／フロアマップ

今年度は、友愛の広場の規模を大きくし、クラブ会員、地区関係、ロータリーファミリーの皆様ブースを提供しました。

出店期間：3月10日(土) 13:00～18:00、11日(日) 9:00～17:00

場 所：南館1階 大輪田の間前ロビー (詳細は以下フロアマップをご覧ください)

クラブ会員

明石北 (有)永楽堂	たこせん、べったん焼き、カステラ、まんじゅう、せんべい類の販売
神戸 (株)阪神コンテンツリンク	鉄道グッズ(玩具、雑貨等)の販売 ※一部タイガースグッズ
神戸西 (株)菊屋商店	招福のり、なぎさ海苔、焼き海苔
神戸西 (株)カミネ商事	ジュエリー絵画
神戸西 (株)オリンピアファーム	オーガニック食品

地区関係

ポリオプラス小委員会	ポリオプラス募金活動 ポリオTシャツ・ポロシャツ・帽子の販売
職業奉仕委員会	職業奉仕セミナーDVDと冊子の販売

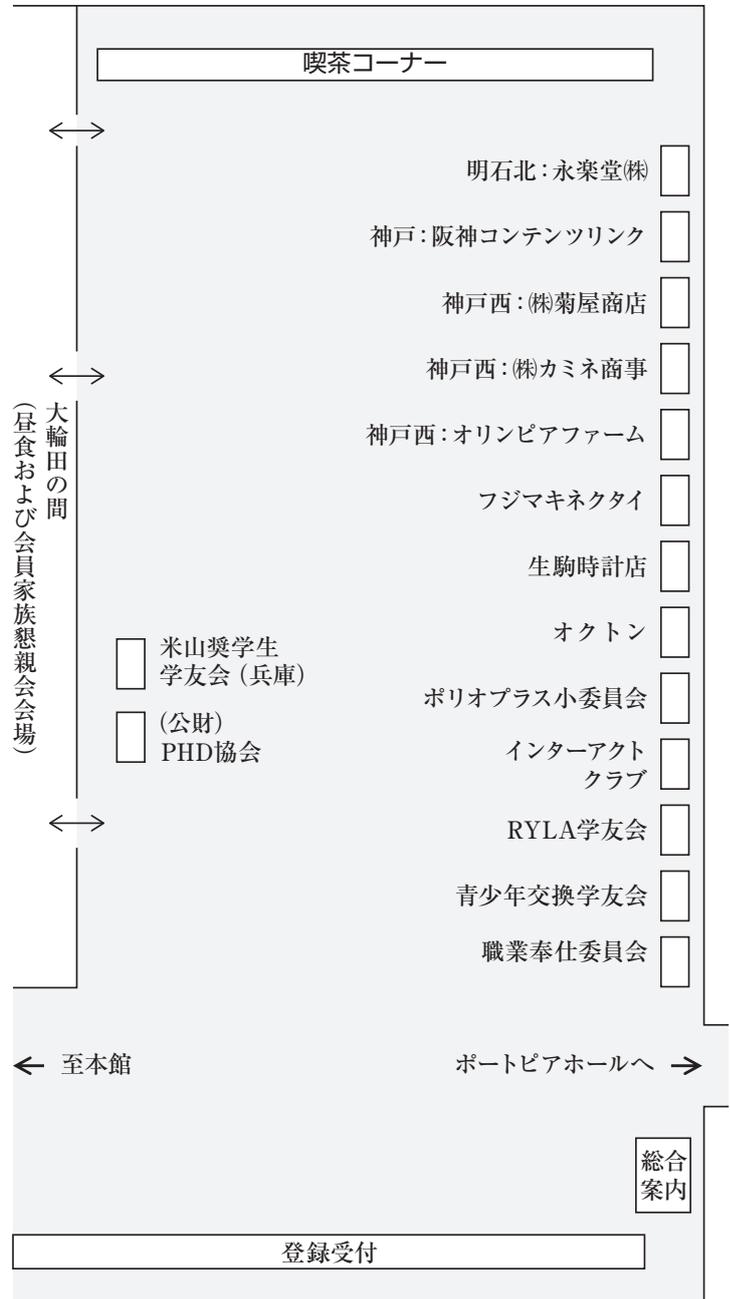
ロータリーファミリー

インターアクトクラブ	お米、せんべい、キーホルダー、ストラップなどの販売
RYLA学友会	バッグ・Tシャツ・クリアファイル・タオル・レトルトカレー・ブローチ・ワイン・冊子・DVDの販売
青少年交換学友会	青少年交換・青少年交換学友会活動紹介 ロータリージャケットの展示
米山奨学生学友会(兵庫)	ペットボトル(水&お茶)、ポストカード&飾り用写真、水墨画作品及び絵付けの陶器展示販売
(公財)PHD協会	タイ・カレンの女性による草木染め手織物製品、ネパール・インドネシアの元研修生によるオリジナルグッズ・フェアトレードショップ商品の販売

ロータリー用品展示販売

生駒時計店、オクトン、フジマキネクタイ

大輪田の間前ロビー





〔挨拶および報告〕



ガバナー

瀧川 好庸

(神戸西)

RI会長代理木下光一様をご紹介申し上げました時にすでにご挨拶はいたしておりますので、挨拶は抜きにして報告をさせていただきます。

この会長・幹事会でのご報告は、公式訪問で各クラブを訪れ、その時に私が感じたり思ったりしたことを述べさせていただきますことにいたします。

最初のクラブ訪問は、昨年7月19日の尼崎中ロータリークラブで、最終は12月22日の自分のクラブ神戸西ロータリークラブでした。尼崎中から始まり、神戸西で終わったのは、尼崎中は室津直前ガバナーの所属するクラブであり、そのクラブへの敬意。最後は自分のクラブという理由からですが、2680地区の慣例としてそうなっているようです。またパストガバナーへの敬意の意味からできるだけ早い時期にその所属クラブを訪問するという、おおよその決まりもあるようです。

さて、全73クラブを回らせていただいて、いままず思う大きなことは、当たり前のことですが、一つは人間と同じで、すべてのクラブが違うということ。もう一つは自分の視野がいかに狭かったかということです。

この地区には会員が150人ほどになる大きなクラブもあれば、10人を割る小さなクラブもあります。この人数の多い少ないだけでも大変な違いがありますが、クラブが立地する地域によっても、違いが大きく出てきます。会員数が多いクラブがいいクラブかといえば、そうとも言えません。少ないクラブが良くないクラブか、これも一概には言えません。クラブごとに適正な人数があるように思います。余りにも人数が多いとクラブ運営上問題が出て来やしないか。会員同士が疎遠になるのではないか。一年たっても名前はおろか、会員かどうか分からない、そんな状態も起こりうるでしょう。

今度は10人に満たないクラブを見た場合、これはこれでまた、果たして適正なのだろうか、と思うわけです。そのクラブの会員の方々はこれでいいと思われているかもしれな

いのですが、他から見た場合、はたして運営はうまくいっているのかなと疑問を抱くことになります。ですから、一概に増強といっても難しいところがあります。クラブによって、またクラブの立地状況によって、それぞれに適正な会員数があるだろうと思います。皆様のクラブの適正な人数はどうか、一度考えてみる必要があるかもしれません。

数の面でいいますと、クラブ運営上常に念頭においておかなければならないのは、年齢構成の方だと思いました。放っておくと自然に平均年齢は上昇します。そして平均年齢が70歳を超えるとといった状態になり、だんだんと活性化が失われるということになっていきます。ですから、クラブの年齢構成は重要な要素のひとつでしょう。

女性会員についてですが、これも一概に入れればいいというわけでもないでしょう。入れるように努力すべきかもしれませんが、これもクラブの生い立ちや、様々な条件を考えれば入れない方がいいというクラブもあるかもしれません。

ただ、クラブ運営上、あるいはクラブの活性化の上から、ある程度の女性会員は必要だろうと思いますし、事実、クラブの中核にあってクラブを引っ張っている女性会員の姿にも接しました。積極的に女性の勧誘をお考え頂ければと思います。わがクラブの女性たちはこの地区大会で大いに活躍してくれています。

クラブの会員数のことは常に頭にあるでしょうが、改めて会員の皆さんと、うちのクラブの適正会員数はどのくらいか、考えてみてください。

次に自分の視野がいかに狭かったかということですが、それは自分の所属するクラブが正にロータリークラブだという意識が、見事に覆ったということです。ロータリークラブというのも、立地や環境によってまさに千差万別、根底にあるロータリーの精神や理念は変わらなくても、置かれた諸状況によってクラブは変わり、外見的な、これが

ロータリークラブだというあり様が、特に外見的なことから判断するクラブの姿が、置かれたクラブの外的状況によって変わる、このことを勉強させてもらいました。私は神戸西の会員です。会員歴はそろそろ25年になります。メイクアップで近隣のクラブや出張先の大都市のクラブには行ったことがあります。少ないメイクアップ歴から知っているクラブといえば、そのほとんどが大都市にあるクラブです。例会場もほとんどがホテルです。

ところがこの度、兵庫県内のいわば大都市から離れた、地方の中小の都市にあるクラブをたくさん訪問いたしました。そこで大都市でのクラブの例会と全く異なる例会の姿に接しました。

これほどありがたい勉強をしたことはありませんでした。なにが勉強かといいますと、お年を召された、その地域ではそれなりの地位にあると思われる会員の方々が、嬉々として例会の準備をし、後片付けをされている姿に接したことでした。当たり前のことかもしれないのですが、自分たちの手で自分たちのクラブの例会場の準備をし、例会を運営し、終わったら率先して片づけをする。ここに私は一つのロータリーの心を見た気がしました。自分たちのクラブの行事は自分たちで力を合わせてするというフェロウシップです。自分たちのクラブは自分たちの手で、です。

大都市のクラブですと我々は、ホテル側がきれいに準備した例会場に入っていく、席に着き、給仕され、食べ終わったら片づけてもらい、ということになります。

地方都市のクラブ例会は、場所が商工会議所であったり、銀行の会議室であったりということが多いです。すると会場は会議室ですから、机椅子を動かし例会場に作り替えなければなりません。レストランが併設されていないところがほとんどですから、仕出し弁当などが例会の食事になります。それを各自の席に並べ、お茶も自分たちで用意し、食べ終わったら片づけ、机椅子をもとの状態に…といった一連のことをすべて自分たちでしなければなりません。すると、俺たちのクラブ、僕たちのクラブ例会という意識が、自ずと会員間に目覚め、自然のうちに一体感が出、奉仕活動などもほんの一部の会員だけでなく、皆ですという感覚が身についてくる、そんな感じをうけていました。金持ちが贅沢な昼飯をみんなで食べる会、という未だに世間に根強く残るロータリークラブに対する偏見を完全に払拭するような姿が、地方都市クラブの例会にはあります。どちらもロータリークラブなのでしょうが、わたしは後者のロータリークラブの姿に多く接し、新鮮な感覚を受けると同時に、ロータリークラブへの認識を新たに、ロータリー歴25年にして初めてといえるいい勉強をし

たと、感動を覚えましたので、少しお時間を頂戴してお話させていただきました。

さて、国際ロータリーは柔軟性と称して、特に2016年の規定審議会で様々な変更をしました。その一つが例会の在り方です。クラブ例会は毎週でなく2週間に一回でもいい。メイクアップはどこかの例会場に出向かなくてもいい。ネットでもOKとなりました。例会時間も固定する必要がない。一クラブが毎回同じ時間帯、月4回の例会を、同じ曜日の同じ時間12時半にする必要性はなくなりました。例えば第4例会だけは18時半からとか、第1例会は朝7時からとか、いろいろバラエティに富ませることも可能になりました。

また以前から食事をするということ決まりはありませんでしたが、食事なしのお茶だけで済ませることもできます。

このように例会の在り方も、賛成反対は別にして、いかようにもできるということになりました。一度例会の在り方を皆で考えてみるべき時に来ているかなという気がしています。会員皆さんで考えることによって、おらがクラブをどうするかということで、そこにまた一体感が生まれることも考えられるかなと思っています。

また会員資格も随分とかわりました。今では世評や評判が会員選択の大きな要素になり、職業も職業分類も問わなくなっていますから、会員増強の窓口も大きく開かれたことになり、ローターアクター身分でのロータリアンも可能になりました。

これからのロータリークラブは、職業など問わずに若い会員や女性や、また外国籍の人や、学友や、ローターアクターなどバラエティに富んだ人たちを入れることによって、多様性を図り、積極的に奉仕に向かう活性化したクラブが求められるのではないのでしょうか。クラブは大人の学校であり、気分転換の場、日常の憂さを晴らす、精神的なクリーニングをする場であり、楽しく奉仕を企画し実行する、そんな場であってほしい、そんなことを思いつつクラブ公式訪問を終えました。

どのクラブもお邪魔しますと、会長幹事さんたちだけでなく、会員全員で心から歓待してくださいました。始める前は、辛いなあ、大変だなと思っていましたクラブ訪問でしたが、次はどんなクラブだろうと期待するようになった自分がありました。そして、千里の道もいとわずという思いになりました。それも会長さん、幹事さんのお心遣いがあったからと今になって思います。本当にお世話になりました。そしてありがとうございます。この場で改めて御礼を申し上げ、ガバナー報告に代えさせていただきます。

◆地区指導者育成セミナー

〔特別講話その1〕



RI 第 2500 地区
2017 年度 RI 研修リーダー

足立 功一
(釧路北)

ロータリー財団は2016年に創立100周年を迎え、次なる100年へ向けた新たな奉仕活動の大綱を策定する重要な時を迎えました。

奇しくもその年は、シカゴで開催された規定審議会で「柔軟性」をキーワードとした歴史的な採択がなされた年でもあり、ロータリーの輝かしい活動の第2世紀に向けて、大きな変革を決定いたしました。

ロータリー財団を中心とした奉仕活動の基本方針は、アーチ・クランフが設立当初から考えていたように、何かが起こった後に対応する事後救済活動ではなく、事を起こさないような人材を育成することに焦点を置いた事前救済活動を奉仕の基本理念としておりました。

その基本的な考えを奉仕の新世紀から実現すべく、直近3年間のRI会長メッセージにはその思いが込められています。それは財団100周年を祝って顕彰した2016-17年度RI会長ジョン・ジャーム氏の「Rotary Serving Humanity」であり、次に財団の新世紀に入る2017-18年度RI会長イアン・ライズリー氏のテーマである「Rotary : Making a Difference」に繋がり、それが今年度2018-19年度会長バリー・ラシン氏が掲げたロータリアンの奉仕活動に対する魂に点火を促す「Be the Inspiration」に至っているわけであります。



今、ロータリーは時代の変遷とともに大きな変革を求められています。それは、創成期から1960年代頃までの間は基本理念の構築が行われた後、次にポリオ撲滅を中心とした財団による奉仕活動の巨大化により、世界中にその活動の範囲を拡大してグローバル化したことで、今やその運営に多額の資金を必要とする世界的な巨大組織になりました。

今、RIの運営には年約100億円の資金を必要としますが、それは投資収益だけでは賄いきれず、会員の人頭分負担金増額をも必要としています。しかしながら私たちは、世界中で同じ考えを持ち、同じ理想に向かって行動する人々の輪を増やし、世界平和の達成と地域の発展のために邁進していかなければなりません。ここでその歩みを止めることはできないのです。

国際ロータリーが今後どのような変革を遂げていくかわかりませんが、私たちに求める基本的な考えは、会員増強と奉仕活動の成果の探求の2点でありましょう。

今回、2016年規定審議会の決定により、個々のクラブの自主独立した運営が承認されましたが、このことは、世界各国に存在するクラブは、その国の文化、教育程度、経済状況に合わせたクラブ運営ができるようになり、大幅な裁量権を得たことで、大胆な会員増強が可能になりました。

しかしながら、裏を返せばロータリアンとしての世界均一であるべき今までのステータス、そしてその価値感に関してRIは目を瞑ったこととなります。

組織の巨大化は、将来的に組織の官僚化とそれによる宿痾を招くようになり、昔から守られてきた基本理念に対する軽視が問題となります。その一つの例が過去に起きた決議23-34の抹消事件です。

現在ロータリーには、手続要覧に記載されている12の基本理念が存在します。これらは、私たちの先達が議論し、多くの困難に直面しながらも守り通してきた大切な



理念ですから、これらを変えることなく堅持していかなければなりません。その中で、私たちが特に大切にすべきものは「ロータリーの目的」と「中核的価値観」、それに加えて二つのモットーであると思います。

私たちは今、もう一度クラブの歴史、伝統をしっかりと検証し、将来自分たちのクラブがどのようなようになるべきなのか、そのために行わなければならない変革はどのようなものなのかを、今この時期にしっかりと話し合っていたきたいと思います。入会金の廃止、会費の減額、例会日の削減などの技術的な変更はすぐに実行できます。しかし、これらのことは自分のクラブの将来像をしっかりと見据えた上での施行が必要です。そしてクラブ会員の考えている基本的な理念には、手を付けてはいけないことは明白であります。

次回の2019年規定審議会で、職業奉仕に関してどのような提案が出されるのか、果たして職業分類という言葉が本当に無くなるのか、大変興味深いところであります。ロータリーには、昔から職業というものを基盤とした理念が存在します。私たち日本のロータリアンは、過去から続くゆるぎない信念を壊すことなく、ロータリーとしてのステータス、ロータリアンとしての信頼性、価値観を失うことがないように活動していかなければならないと思います。それがいずれは、真のロータリーの存在価値を

示すものに繋がると思います。私たちはそれぞれの奉仕活動は異なっても、ロータリーという組織とその共通理念、すなわち「倫理の重視」と「超我の奉仕への献身」によって結ばれているのです。

現在、世界中には123万人のロータリアンがおり、私たちはお互いの多様性を認めながら、世界でさまざまな活動をしています。しかし、私たちが一つになれるのは、ロータリーという組織が、倫理を最も重視し、第一モットーである「超我の奉仕」へひたむきに献身することで結ばれているからなのです。

それはすなわち、「職業倫理」という言葉から生まれた最重要な理念であることは日本のロータリアンの皆様にはご理解いただけたと思います。

今日のセミナーでは、私たちが大切にしている「中核的価値観」についてその背景にある出来事を交えながら、私の独断と偏見を入れてお話しさせていただきました。いま、ロータリーから「職業」という言葉が無くなるようにしています。次回の2019年規定審議会で採択が、ロータリーの理念の根幹をなくしてしまうかもしれない大切な審議会であることは明白です。日本の代表議員の皆様がそれだけの危機感をもって、日本全国の意見をまとめて、立法案に対処していただくことを心から期待しております。



◆地区指導者育成セミナー

【特別講話その2 「ロータリーで学んだリーダーシップ」】



RI 会長代理
木下 光一
(大分城西)

リーダーシップに求められることは何でしょうか?それは最も効果的に継続的に成果をあげることだと考えます。そしてリーダーシップに必要な能力は何かと考えると、まず外部環境を正しく把握すること、それから目標を設定すること、その目標を達成する方法を立案すること、内部組織を掌握し強いチームを作ること、そしてゴールに到達するまでチームを指導すること、ゴールに到達したならばチームの頑張りを賞賛し、感謝すること、などが挙げられます。

一言でリーダーシップと言いますがそれは多様であり、しかも本質的には一環したものです。様々な段階でのリーダーシップがあり、それぞれ異なっています。例えば第一線、現場のリーダーシップ、組織内の中間

におけるリーダーシップ、組織内の上層におけるリーダーシップ、そしてトップのリーダーシップ、などがあり、それぞれその態様は異なっています。人はこれらを経験しながら、また学びながら、リーダーシップを身に付けていくのですが、経験だけではその上の段階のリーダーにはなれません。より幅広い知識、コミュニケーション力、教養が必要であり、それは経験を積んだだけでは得られないからです。学ぶことが不可欠です。そしてリーダーは様々な状況においてチームの力を最大に保つことを求められています。

さて上の段階のリーダーシップについて考えてみますと、有能な人を選んで、細かく口出しせず任せることが最も優れたリーダーシップと言われていますが、これ





は口で言うのは簡単ですが実行することはそんなに簡単ではありません。それができるためには人をよく見て、育てていくことが必要で、それをしてきた人でないとこのようにはできません。またリーダーとして約束を守り、責任を取ることがきちんとできないと務まりません。

このことをロータリーに当てはめてみると、私たちはロータリーの活動の中で繰り返しあらゆるリーダーを経験しています。またクラブではリーダーをしてその後にフォロワーに戻ったりします。こんなことは他の組織ではあまりないのではないかと思います。リーダーとして失敗してもそこには寛容の精神が溢れています。このような環境で私たちは次第にリーダーシップの本質を体得していくのです。

ここで職業人としてのリーダーシップについて触れてみたいと思います。職業人としてのリーダーシップが求められているものは最も効果的に継続的に成果を上げることであり、一般的なリーダーシップと変わりません。ただ企業の場合、成果とは売り上げ、利益、雇用数であり、専門職業の場合は利用者の数とか、問題を解決したお役立ちの量とか、職員の数などでしょうか。つまるところ、事業の長期的、継続的な成長です。ですから長くロータリアンであって、その人の職業がどうなってきたかということとはとても重要なことだと思います。企業であれば増収、増益、社員数が評価指標です。もちろんその他にも企業の価値と言えるものはたくさんありますが、本質を忘れてはなりません。毎年これを継続していく企業が地域社会から信頼され、地域にとってなくてはならない企業になるわけです。企業版社会奉仕として少し掘り下げてみましょう。企業であれば毎年少しずつ増収、増益、雇用増を実現する年輪経営が最も望ましい企業であると思います。こういう企業で働く社員の満足度は高く、社員は安心して働き、自分の能力を十分に発揮してくれます。その結果社員が第一線でお客様に最高のサービス、最高の商品を提供してくれて、お客様満足も高まっていくわけであります。ですから年輪経営というのは人を大切に作る経営を実践することで実現します。そういう企業では経営理念に人を大切にすることが明記されています。また社員の成長のための予算が每期組まれていて、社員は自らを成長させることができます。このような企業では若い社員が定期的に採用さ



れ、教育を受けて幹部へと昇進していく姿が企業の内部でも外部からも見えています。そんな企業に優秀な人たちが集まってきます。まさに人間尊重の経営であり、これはロータリーの理念を体現したものです。

ここでリーダーシップのモデルを考えてみたいと思います。それはアイゼンハワー氏です。彼は第二次世界大戦後のアメリカの大統領領ですが、大統領になるまでは欧州軍総司令官でした。総司令官として、いくつもの大きな決断をしてきました。その決断が正しくできて、将兵から信頼され、戦争を勝利に導くためにアイゼンハワーが総司令官として選ばれたのです。連合軍なので各国の首脳と調整することもあり、彼の人柄と教養に裏打ちされた人間力なしでは成果を上げることができなかったらうと言われていました。

今皆さんはこのリーダーシップを磨くためにロータリーでがんばっておられます。高いゴールを目指して下さい。挑戦しなければ成長することはできません。挑戦する中で出会う困難があなたを高めてくれるのです。意欲を持って、全力でロータリーの活動に取り組んでください。きっとあなたの人生が素晴らしいものになるはずです。

◆地区指導者育成セミナー

〔特別講話その3 「Rotary in my mind 我が心のロータリー」〕



地区研修リーダー

中村 尚義

(洲 本)

英国の名門校オックスフォード大学（1324年創立）の正門に、ドイツ語で「ICH DIEN」と書かれた彫刻があります。「誇りと志」を象徴する言葉としてのICH DIEN。英語ではI serveです。現在もPrince of Charlesの紋章としてICH DIENが受け継がれています。私たちが何気なく使っていたI serveにはこんなに深い意味があったのです。Service above selfという奉仕理念でありI serveという行動原理です。若者たちに継承すべきロータリーの根幹あるいは魂に当たる言葉ですが国際ロータリー（RI）ではほとんど語られていません。でも今年度はこの魂探しを惜しみなくやっています。職業奉仕セミナーもそうだったし、明日の地区大会本会議での大合唱・ベートーベンの第九は瀧川年度地区活動の集約です。歓喜の歌には、ベートーベンのソルザント・魂が込められています。楽しみにお待ち下さい。ただし、うまい下手は別です。心意気を感じ取っていただきたいと思います。

ロータリーで謂うServiceの基本は愛です。文豪思想家・三島由紀夫は、著書「葉隠入門」のなかで、〈西洋の愛〉を語っています。「西欧ではギリシャ時代に、愛が恋愛のエロースと無償の愛のアガペーに分けられた。この2つの愛は、西欧では対立関係にあり、日本では一直線に繋がっている。日本人は二つの愛の区別が出来ていない。だから、日本には恋はあったが愛はなかった」と言う。このアガペーの愛に限り、相手から感謝されることを期待できない。相手に対して憎しみを持つことなく、「くじかれることのない慈悲と善意」をもって、相手のために一番いいことをしようとする。これこそロータリーの神髄といえます。

私たちがServiceを正しく理解できないのも文化の違いから来るものだと思います。1905年に誕生したロータリーは単なる社交クラブにServiceの概念を入魂することにより資質を高めていきました。ここは外せません。少しずつでも理解を深めていきましょう。

さて資本主義社会は国境を越えグローバル経済にな

り、ロータリー草創期とは職業に対する環境が随分変わってきました。今やグローバル資本主義の中にサービスあるいは、道徳心や倫理観を見出すことはできません。そこで、Vocational Serviceがこの資本主義社会に適用できるか少し考えてみたいと思います。ここに、一冊の哲学書を紹介します。フランスの若き哲学者、アンドレ・コント＝スポンビルは著書〈資本主義に徳はあるか〉の中で次のように述べています。

「資本主義というシステムに徳があるなんて滑稽だ。商取引は利己主義で十分なのです。この点こそ、商取引の強みがあり、その実行力があるのです。商売をすることは自分を犠牲にすることではない。それとは全く逆でさえあります。つまりそれは、一緒になって、あるいはともに取引しながら、どちらも利益を得るひとつの方法なのです。そうでなければ、商人も顧客も存在しないでしょう。」と述べています。では、やりたい放題（法に触れなければ何でもあり）で良いのでしょうか。続きがあります。「資本主義というシステムのなかに道徳も倫理もないからこそ、個人一人ひとりのなかに道徳や倫理を必要とする。」と述べています。道徳は道、倫理は愛です。これをロータリーではServiceとっています。

さらに、「常に下降に向かう集団固有の傾向性を、逆に進む能力を持つのは個々人だけです。集団が私たちを引き込もうとするこの傾向性をわずかでも逆に進むためには**愛と明晰さと勇気が必要です。**」と続いています。経営者・管理職だけではなく、政治家や官僚あるいはスポーツや文化などあらゆる組織のリーダーやその従業者個人にその意識や自覚が求められます。最近起る政治と官庁、企業内不正や働き方改革など「愛と明晰さと勇気」があれば問題解決が可能になる、と痛感します。これは働き方の基本です。いや私たちが生活していく上での基本とも言えるでしょう。

企業に於いては、このような戦略を支える倫理原則は「**組織の誠実さ (Integrity)**」という考え方とな



り、企業倫理として確立する。個人倫理をベースとした企業倫理の総体を職業倫理と考えるならば、職業奉仕はロータリーという巨大組織の価値観を示す最大の資産と言えるのではないのでしょうか。

さてロータリーは国際的な組織です。国際社会はそれぞれの国によって成り立ちが違います。これをインターナショナルといいます。文化や生活はグローバルという言葉では表現できません。国際社会はそれぞれの国が個性を誇りとして持ち、文化の相互交流や相互理解に努めなければなりません。RIが人道支援を中心に据え、すべてをグローバル化に進むのであれば問題があると言えます。私たちロータリアンは国際社会であっても、どこであっても、会社人間、組織人間としてだけでなく、一人の人間として通用することが重要です。ロータリーで学んだプリンシプル（信条）を持ち、堂々と礼儀正しく、ユーモアに満ちて、立派に振る舞える人間像が求められています。このような人物を育てるのも研修目的のひとつです。これが真のロータリアンと呼ばれる人でしょう。

でも、私は今まで述べたような精神性の高い、高潔なロータリーを会員や一般社会に求めるのは無理ではないかと思っていました。

ところが、31歳のスポーツ選手から「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」そして、「私は求道者です」との言葉を得ました。小平奈緒（平昌五輪、金メダリスト）さんです。金メダルを貰うのも名誉な事であるが、どういう人生を生きていくかが大事になると思う。小平選手の言葉は若い世代（若者たち）に感銘を与えました。一度挫折した人にも「私もそのような生き方をしたい！」や「もっとしっかりしなくては」とか。これらの言葉はロータリーそのものです。ロータリーの基本的な考え方は若い人たちに感動を与えることができるのです。もっともっと強調しましょう。

ロータリーは崇高な理念をもとにいろいろなプログラムを提供しています。地域社会から国際社会。若者たちから高齢者まで。皆様の温かい寄付を必要としています。ボランティア活動にはお金がかかります。寄付してくれる方がいたらどんなに嬉しいか、ぜひ、ご協力をお願いします。

時代は変わり、世の中の変化とともに、単純なストーリーや見栄え（インスタ映え）の良いものが好まれ、ロータリーの意義は深すぎて見えにくくなってきました。女性の社会進出も目覚ましいものがあります。男も女も老いも若きも皆ロータリーの中に入るこ

とができるようになりました。少し寂しい気もしますが変化が求められています。ロータリーは変化をもたらすことが可能です。古き良きロータリーを胸にしまい、今に対応していきましょう。時代の変化に対応できないと、滅びるしかないのです。

さて最後になりますが、研修について一言御礼申し上げます。これまで10数回の研修やセミナーが開催されました。ご出席ありがとうございました。1月にはクラブ研修リーダー会議を開催しましたが、その後クラブの研修活動に反映されていますか。この研修の目的は、ディスカッションリーダー（DL）を養成することと進行役（ファシリテーター）付きの会議の進め方に慣れるところにあります。定款にある、Membership Developmentは、会員増強と翻訳されていますが、会員の自己啓発も会員増強の中には含まれているということです。研修の大きな意味は〈人を育てる〉ところにあります。

このように多様性に富み柔軟性のある取り組みをすることによってクラブに変化をもたらし、あなたのクラブを活力ある鮮度の良いものに作りあげていくものと確信いたします。さらには、若者たちが挫折から次の成功を得たように、私達もインテリジェンスを磨き少しでも世の中のお役に立てる人間像を目指して終わりにしたいと思います。ロータリーって良いところですね。つくづくそう思います。最後に一首。

“春風に誘われ迎える地区大会
セミナー終われば楽しみいっぱい”

ありがとうございました。



〔大会実行委員長開会の挨拶〕



大会実行委員長
村野 利昭
(神戸西)

皆様、おはようございます。

本日は、木下光一RI会長代理ご夫妻をお迎えいたしまして、また、このように大勢の皆様方のご出席をいただき、かくも盛大に、2017-18年度国際ロータリー第2680地区・地区大会を開催することができますこと、大会関係者一同深く感謝申し上げます。

ご来賓の皆様方には、地区内外より遠路ご臨席いただき、厚くお礼申し上げます。

その上、兵庫県知事・井戸敏三様、神戸市長・久元喜造様には、何かと公務ご多用のところ、ご臨席賜り、錦上添花を添えていただきました。誠にありがとうございました。

さて、地区大会はすでに昨日から始まっております。「会長・幹事会」「地区指導者育成セミナー」「ロータリーファミリーの集い」等が行われました。

「地区指導者育成セミナー」では、2017年RI研修リーダーの足立功一パストガバナー、木下光一RI会長代理、さらに中村尚義地区研修リーダーの特別講話がありました。

本日も本会議の午後の部で、元駐米大使・一般社団法人日米協会会長の藤崎一郎氏の「アメリカと世界」というタイトルの講演をお聴きいただきます。

一方、今年度は「ロータリアン・ロータリーファミリー、みんなで楽しむ地区大会」をテーマに、会員参加型の地区大会を目指して参りました。

友愛の広場にはロータリアン・ロータリーファミリーに出店いただいております。どうぞお買い上げ願います。

また、本会議の午後の部は、朝比奈千足氏指揮の、ロータリアン・ロータリーファミリーの有志150人に及ぶ大合唱で幕を開けます。各グループ、各自で猛練習し、3日間合同練習を重ねて、準備していただきました。

会員家族懇親会では、ロータリアン有志による、懐かしのメロディーの熱唱をお楽しみいただきます。

今日一日、地区大会をご満喫いただき、クラブを越え、グループを越えて、親睦と友情の絆を深めていただきますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。



〔ガバナー挨拶〕



ガバナー

瀧川 好庸

(神戸西)

皆様、おはようございます。本地区、国際ロータリー第2680地区のガバナーを仰せつかっております瀧川好庸でございます。今日一日よろしくお願ひ申し上げます。

本日は、イアン・ライズリー国際ロータリー会長の代理として、国際ロータリー第2720地区のパストガバナーであり、また国際ロータリーの研修リーダーであります木下光一様ご夫妻を始め、本地区内外から多数のご来賓、パストガバナー、会員の皆様、そしてご家族の皆様、またロータリーファミリーの皆様など、かくも大勢の方々をお迎えして、本地区、国際ロータリー第2680地区の地区大会本会議が開催できますこと、誠にありがたく心から御礼申し上げます。

とりわけ、ご公務ご多用の中、わざわざこの地区大会本会議のためにお時間を作っていただきご臨席賜りました、兵庫県知事井戸敏三様、神戸市長久元喜造様には心から感謝いたしております。ありがとうございます。

昨日の地区指導者育成セミナーでは、国際ロータリー第2500地区のパストガバナーであられ、国際ロータリーの研修リーダーであります足立功一様、会長代理であります木下光一様、そして本地区の研修リーダーであります中村尚義パストガバナーからロータリーの様々なお話をうかがい、改めてロータリーの勉強をいたしました。

本日の本会議は、本地区各クラブからはせ参じてくださいました150名もの会員やご家族、またご縁のある皆様による大合唱で幕をあげ、ここ2年ばかりの地区大会でご好評をいただいております滝川第二高等学校の吹奏楽部による演奏をさきがけといたしまして、元駐米大使であられ、現在は日米協会の会長という要職にあつてご活躍中の藤崎一郎様に、トランプ大統領といういささか型破りの人物を大統領にいただくアメリカと世界ということなどを中心にご講話をいただき、私たちの知見を広めたいと思っております。

今年の地区大会は、「みんなで楽しもう、ロータリー」と銘打ちました。昨日はロータリーファミリーの集いが開催されました。また友愛の広場は例年と少し趣を変え、出店数を増やしています。休憩時間でもお立ち寄りいただければと存じます。

そして、夕刻よりは会員家族懇親会を用意いたしました。やはり会員による手作りのエンターテイメントもごございます。皆様と共に楽しく地区大会を締めくりたいと思っております。

それでは国際ロータリー第2680地区の2017-18年度地区大会を開催いたします。最後までお付き合いいただきますようよろしくお願い申し上げます。

〔ホストクラブ会長挨拶〕



ホストクラブ会長

堺 充廣

(神戸西)

本日は、RI会長代理木下光一様ご夫妻をお迎えし、兵庫県知事井戸敏三様、神戸市長久元喜造様を始めとするご来賓の皆様方、また、地区内外より多くのロータリアンとご家族の皆様のご臨席を賜り、2017-18年度国際ロータリー第2680地区地区大会を開催できますことを、ホストクラブを代表して心より感謝申し上げます。

イアン H. S. ライズリー2017-18年度RI会長のテーマは「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ロータリー: 変化をもたらす」です。ライズリー会長は、これを、「自分が輝くためにロータリーが与えてくれた1年ではなく、自分がロータリーに与える1年とし、ロータリーが一層明るく輝けるようにしなければならない。奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらす。誰かの人生をより良くする。奉仕に全員で全力を尽くす年度にしよう。」と説かれました。

瀧川好庸ガバナーは、このイアン H. S. ライズリーRI会長のテーマを実践するため、「変化をもたらすことによって、持続の可能性を高める」を本年度の2680地区の理念とされ、地区内各クラブの強化、奉仕プロジェクト数の増加と質の向上、ロータリーのイメージの向上と認知、クロスプロモーションによるロータリー活動の活発化などの活動方針を立て、多くのロータリアンのご協力を頂きながらそれらを実践してまいりました。

本地区大会は、この様な瀧川ガバナー年度の地区活動の集大成になります。私ども神戸西ロータリークラブの会員は、「みんなで楽しむ地区大会」をモットーに、各ロータリアンが楽しく参加できる大会にしよう、との瀧川ガバナーの方針を受け、他クラブのロータリアンにもお力添えをいただきながら、会員全員で地区大会に向けて準備を進め、今日という日を迎えました。本大会の開催にご助力いただいたロータリアン、事務局の方々に心よりお礼を申し上げます。

私共は、本地区大会が、参加されましたロータリアン各位にとって、好意と友情、親睦と理解を深める良き場になると確信いたしております。どうか十二分に地区大会をお楽しみ下さい。

皆様がロータリアンとして一層のご発展を遂げられますことを心よりご祈念し、歓迎のご挨拶とさせていただきます。





〔兵庫県知事祝辞〕



兵庫県知事
井戸 敏三

皆様、おはようございます。

国際ロータリー第2680地区の地区大会が盛大に開催されますことを心からお祝いします。この大会への出席は、私にとって義務となっております。亡くなられました今井鎮雄先生が、来ないと何をす
るかわからないぞと、いつもおっしゃっておられまして、そのために、よほどのことがない限り出席さ
せていただいております。残念なことに昨年は出席できなかったのです。関西広域連合の議会が同
じ日の同じ時間に開催されましたので、参上できませんでした。従いまして2年ぶりになります。

今日は3月11日、あの東日本大震災が襲ったその日であります。7年を経過して8年目に入るわけ
ですが、これから生活復興の面で大変いろんな場面がでてきますので、さらに支援をしていく必要
があると考えています。そのような意味で、この節目の時に、奉仕を基本として活動を展開されている
ロータリーの皆さんの地区大会が開かれるということも、一つの大きな契機ではないかと、このよう
に思います。

併せまして、兵庫県にとりまして、今年は大変重要な年であります。県が設立されてから150年を迎
えます。西暦で言いますと、1868年の7月12日に兵庫県が誕生しました。明治維新がやはり150年前
ですから、不思議なことにこういう節目を迎えると大きな転換期を迎える、そういう状況に遭遇しが
ちです。我々もそういう大きな転換期を迎えているというふうに思います。人口が減少し続けるとい
うことです。兵庫県も人口550万を割りました。2月の推計人口で549万7千人になりました。平成21
年、2009年の11月、12月に560万を記録して、そして減少が始まって今に至っています。私たちの目標
は2020年、547万に留めたいというのが目標です。そして、これからほぼ50年先ですが、2060年の人
口を、50年前、100周年を迎えたとき、昭和43年ですけれども、その時の人口の450万に留めたい。こ
れを目標に地域創生の事業に取り組んでおります。

ロータリアンの皆さんには、それぞれの地域でいろんな活動を展開していただいて、そのような地
域おこしにご協力をいただいている。そのことに感謝申し上げますとともに、是非これからもリードを
していただきますようお願い申し上げます。

私は今、職員に、枠にとらわれないで発想しようということを、非常に強く言っています。日本の文
化はどちらかというと、匠の文化と言って良いのではないかと思います。つまり、一つのことを究めて
いくのです。ですから、従来のやり方を変えていくとか、新たな課題に対して異なる発想をしていくと
いうのが若干苦手です。しかし、何々道という道をつくったり、名人を生んだりというのはどちらかと
いうと得手なのではないでしょうか。

例えば、掃除機のルンバ。あれは日本人では発想できなかったと思います。日本人の発想からすると、掃除機というのは人が掃除をするときに使う道具ですから、いかに吸引力を増すか、いかにどんなものでも吸い込むか、そしていかに軽いか、いかに吸収量が多いか、とかですね。そういう風に突き詰めていく発想なのです。ルンバは掃除をする機械なのです。人が掃除をするのではなく、自分で掃除をする。こういう発想自身がこれから非常に重要になるということを言っています。

ダイソンの扇風機もそうですね。私の子どもの頃、よく羽に手を入れて子どもが怪我をするというようなことが起きました。その時から羽をなくせばいいじゃないかと思っていたのですが、羽ではなくて防護用具で網の目を細かくするとかですね。そういう発想で改良していくわけです。従来の応用でできることもありますが、従来の応用ではできないことがこれからますます増えていきます。課題解決にあたって柔軟な発想をしていこうと呼び掛けさせていただいております。150年だからこそ、その意味をみんなで考えて、新しい未来づくりに進んでいこうではないかということと呼び掛けているのです。

また、150年を記念して、地区大会に準ずるような大きな全県大会、全県催しをロータリアンの皆様が検討していただいているとお聞きしております。150年は一つの通過点ではありますが、ぜひ未来に向かって大きなメッセージを発していただきますことを心から期待したいと思います。

いつものようにお祝いの歌をつくってまいりました。

「国際化の150年迎えたり 地域から世界へ さらに創^{つく}らん」

150年を契機に、さらに私たち自身がしっかりと歩んでいけますように。そして、そのリーダーとしてロータリアンの皆さんがご活躍いただきますことを心から祈念いたしまして、この大会のお祝いのご挨拶とさせていただきます。おめでとうございます。





〔神戸市長祝辞〕



神戸市長
久元 喜造

皆様こんにちは。ご紹介いただきました神戸市長の久元喜造でございます。本日、国際ロータリー第2680地区の地区大会が盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。瀧川好庸ガバナーをはじめロータリアンの皆様におかれましては、奉仕の精神のもとに多彩な活動を展開しておられますことに敬意と感謝を申し上げたいと思います。また、他地区より神戸にお越しの皆様方に歓迎を申し上げます。

昨年は神戸港が開港して150年の年ということで、多彩な事業が繰り広げられました。そして今年も明治維新150年、兵庫県政150年という記念の年にあたります。1868年1月1日、神戸港が開港した後の神戸は、新しい時代の息吹に溢れるとともに、同時に平穏ばかりとは言えないような雰囲気だったと言われております。

そういう中で発生したのが神戸事件でした。備前藩の藩士の部隊が三宮神社前を通過中に、外国人がこれを横切りまして、怒った備前藩の部隊が銃撃をする事件が発生いたしました。イギリスやフランスなどの外国人の守備隊が神戸に上陸をいたしました。一触即発の事態になったわけです。この事態の収拾に動いたのが、発足間もない明治政府であり、政府は備前藩の責任者、滝善三郎を各国代表の前で切腹をさせ、解決を図りました。このことは発足間もない明治政府の事態収拾能力を内外に示したとされております。

初代内閣総理大臣、伊藤博文公が初代兵庫県知事を務められましたように、神戸は近代日本のスタートの舞台でもありました。そして、大日本帝国憲法発布の1889年に神戸市は設置され、以後、神戸市は東京市、大阪市などと並んで6大都市の一角を占め、我が国の近代化をリードしていきました。

しかしながら神戸の道のりは決して平坦ではありませんでした。1945年の空襲では街は灰塵と化し、戦前100万人以上を数えた人口は38万人にまで激減をしたと言われております。そして1995年の震災では、神戸市内では4571名の方々が犠牲となりました。そのあと神戸市民は内外から様々な支援をいただきながら、市民が互いに励まし合い、助け合い、街をよみがえらせることができました。このような歴史を振り返りますと、神戸は神戸のためにあるのではなく、他の地域に対してもしっかりと貢献できるような、貢献をし続ける街でありたいと思います。

今年の4月からは、神戸空港が民営化をされました。実質的に関西エアポート株式会社が関西空港、伊丹の大阪国際空港、神戸空港を運営することになります。このことによりまして、これまでの3空港の競争、競合関係は解消され、一体運用がスタートすることになります。神戸空港は神戸経済のためにだけあるのではなく、関西全体の航空需要の拡大、関西経済全体の発展、そして兵庫県の発展にも貢献できるように運用をしていきたいと考えております。

今日発生から7年を迎える東日本大震災の被災地、また熊本市など熊本地震の被災地に対しましても、職員を派遣し、そして市民の皆さん、企業の皆さんと一緒に東日本大震災の被災地に対する支援を続けていきたいと思っております。神戸は他の地域に貢献をし続ける、そしてそのことを市民みんなが誇りに思えるようなそのような街であるようにこれからも努力を続けていきたいと考えております。

国際ロータリー第2680地区の皆様方におかれましては、引き続き神戸市政に対するご参画、またご理解とご支援をお願い申し上げます。お祝いと歓迎のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

〔RI会長代理挨拶並びにRI現況報告〕



RI 会長代理
木下 光一
(大分城西)

皆様おはようございます。私は国際ロータリー会長イアン・ライズリー氏の代理として派遣されました木下光一と申します。2720地区のPastorガバナーであり、2017-18年度のRI研修リーダーを務めております。また家内の貴鶴がジュリエット夫人の代理として本大会に出席いたしております。私ども両名よろしく願いいたします。

さて本年度ライズリー会長は「ロータリー：変化をもたらす」と言うテーマを掲げて国際ロータリーを引っ張ってこられました。その想いとは何だったのでしょうか。ある時会長は一般の方から「ロータリーとはなんですか」と尋ねられました。説明しようとして口を開いたとき、ロータリーはあまりに大きくて複雑なので一言で説明できないということに気がつかれました。ロータリーは会員一人ひとりに自分なりのロータリー観があるということであり、これはロータリーの強みでもあるのです。そこで会長はロータリーを言葉ではなく私たちの行動で説明しようと考えられました。それは、ロータリーは奉仕を通じて変化をもたらしてきたということです。ロータリーは112年の歴史を通して地域社会と世界、そして人々ならびに会員一人ひとりの人生に良い変化をもたらしてきました。このことはこれからも変わりません。

ロータリーがこれからもより素晴らしい組織であり続けるためにいくつか必要なことがあります。まずロータリーを世界に正しく理解してもらうということです。国際ロータリーではこの数年来、一般の方々を対象にアンケート調査を行ってきました。最初のアンケート調査の結果ではロータリーについて知っていると答えた人の割合は30%程度でした。その後ロータリーは公共イメージの向上に努めて参りまして数年経って行ったアンケート調査ではその割合は70%にまで高まってきました。しかし、これはロータリーの名前を知っているというだけ

で、ロータリーがどういう団体で何をしているのかについてはまだあまり知られていないのです。ですから会長はまずロータリーを世界に正しく理解してもらうためにクラブの活動についての魅力あるストーリーを伝えてほしいとされています。活動の単なる告知だけでは一般の人々の記憶に残りませんので、こんな問題があって、それを解決するためにこういう活動をして、その結果こうなりましたというストーリーで伝えるということです。

また世界ポリオデーに際して地元でイベントを行って欲しいとされています。それによってポリオ撲滅があと一歩のところまでできており、ロータリーが継続的にそれに携わっていることを地域の人々に知ってもらおうというものです。

その次にクラブの会員基盤を広げ多様な会員を増やし、積極的な参加を促すことが必要だと言われています。そのためにより柔軟な例会、活動、発展の方法をクラブが独自に進めて行くこと、地域社会の特色をクラブに反映させること、長期の計画、持続可能な奉仕、リーダーシップの継続性を重視することなどを望まれています。

そして3番目に世界的な人道的問題に取り組んでほしいとされています。まずはロータリーの最優先項目であるポリオ撲滅への積極的な参加、そしてグローバル補助金や地区補助金を活用して世界的な人道的問題を解決する奉仕活動に取り組んでほしいということです。

また今年度の会長賞にチャレンジしていただくことを強く望まれています。そのための要件にはロータリークラブ・セントラルを活用すること、クラブ戦略計画の更新、会員数・女性会員・若い会員の純増などのほか、いくつかの実践項目が挙げられていますので、各クラブで意欲を持って挑戦していただきたいと思います。地区



内の50%程度のクラブが会長賞を受賞できるように目指してください。

ロータリーの現状と課題について少しお話しします。まず1番目は「会員数の伸び悩み」ということです。世界で約120万人と言う数字は15年前からあまり変わりません。2番目に平均年齢は確実に上昇してきています。60歳以上の会員が約半分で40歳以下は10%にしか過ぎません。3番目は入会者数と退会者数がほぼ拮抗していることです。毎年多くの方がロータリーに入会され、また多くの方がロータリーを去って行かれます。大変残念なことです。4番目は先ほど申し上げましたロータリーが正しく知られていないということです。5番目は日本では地方のクラブの会員減少が顕著でしかも続いているということです。これらをなんとかしなければいけません。当2680地区を含む第3ゾーンのデータを見ると会員数は横ばいで女性会員の割合は7%未満です。世界ではほぼ20%ですのでもう少し増やしていきましょう。

ここで国際ロータリーの財務状況を見てみます。2017年6月30日現在の数字を見ますと会費収入が6,878万ドル、その他の収入を合わせて収入合計は約1億700万ドルです。一方支出は9,651万ドルで1,000万ドルの黒字です。この年度は前年より会費が1人1ドル増えていますが、これから毎年1人4ドル増えていくようになってきますので会員のみなさんが国際ロータリーのお金の使い道により関心を向けていただくことが重要だと思います。

ライズリー会長の変化をもたらすというテーマはロータリーだけを変えようということではなく、会員と社会のニーズの変化に応じていこうという呼びかけです。

かつての典型的なロータリアンのイメージは地域の成功した中小企業のオーナー経営者や専門職業人でありました。第二次世界大戦後わが国は分厚い若年人口に支えられて高度成長を成し遂げましたが、それを支えた一つの柱は全国の中小企業経営者の多くがロータリアンとなり、職業奉仕という理念に沿って自社の健全な経営を行ったこともありました。また、その姿が他の中小企業経営者を惹きつけ、急速な会員増ももたらしました。しかし今や高度成長は終わり、1990年代以降日本はほとんど経済成長していません。この中でかつての

典型的なロータリアンの層は痩せ細り、この層からの入会者増は期待できません。

一方で新たな事業分野や専門職業がたくさん登場してきています。例えば新しいサービス業やコンサルタント、ICT企業や起業家ですが、残念ながらロータリーはこれらの層をあまり取り込めていません。またこの新しい層には女性や若い経営者が多いのです。また社会に貢献したいという若者が増えていて大きな災害があると全国からボランティアに駆けつけてくれます。これらの人たちもロータリーはあまり取り込めていません。このような変化に 대응ということはロータリーだけの問題ではなく自分の仕事を見直すことにもつながります。2016年の規定審議会において導入された柔軟性は、企業やビジネスのあり方が変わったのでロータリーもそれに合わせようということです。例えば働く時間や場所が多様化していますし、自分で全ての仕事をするという起業、スタートアップが普通の働き方になりました。このような多様な働く職業人を取り込むためです。

またこれは新クラブ結成の新たなチャンスともいえます。これらの新しい層を既存のクラブに入れることは大事ですが、困難もあります。年齢のギャップや価値観の違いなどでなじめないで退会してしまう例もあるようです。ですからこの人たちだけの新しいクラブを作って、例会時間、場所、頻度、会費をこの人たちが活動しやすいものにしたら良いと思います。また新しいクラブができることによって、この人たちだけが気がつく社会のニーズがあるのではないかと思います。それによって奉仕の方法やファンドレイジングも斬新なものが見つかるかもしれません。



このような見直しをするということはロータリーのことだけではなく自らの職業を見直すことにも通じます。現代は知識基盤社会と言われますが自分の職業がこの知識基盤社会に適応しているのかどうかチェックする必要があります。この知識基盤社会では付加価値を提供するだけでなく、顧客の課題を解決できなければ顧客から見向きもされません。そのためには顧客の課題を具体的に知る必要があります。また知識基盤社会では土地や資本ではなく知識が最重要の経営資源です。そしてその知識は人についています。ですから自分も含めて人=人財を大切に作る運営でなければ組織は発展することができません。ロータリーや自分の職業において人間尊重の運営をしていかなければならないということです。考えてみればこれはロータリーの理念そのものでもあります。ぜひこの大きな変化をしっかりと受け止めましょう。

最後に国際大会への参加を強く呼びかけたいと思います。今年度の国際大会は6月23日から27日の間にカナダのトロントで開催されます。ライズリー会長とジュリエット夫人も皆様をお迎えします。開会式、分科会、閉会式と続く大会行事に参加することで大きなカルチャーショックを受けることでしょう。国際大会に参加するということは国際ロータリーのシャワーを全身に浴びることです。報告を聞いたりビデオで見ることは全く違います。ぜひ皆さんの肌で国際ロータリーを感じていただきたいと思います。世界は大きくて多様でエネルギーに満ちています。そのシャワーを浴びるということは自分の生き方とビジネスに新しい光を当てることでもあります。ぜひトロントで、国際ロータリーを実感しましょう。皆さんとトロントでお会いするのを楽しみにしています。





〔RI理事ご紹介〕



RI 理事エレクト
三木 明
(姫 路)

みなさん、こんにちは。只今ご紹介いただきました姫路ロータリークラブの三木でございます。私が尊敬してやまない日本のロータリーのリーダー、と申しますより世界のロータリーのリーダーであります国際ロータリー理事、斎藤直美先生をご紹介申し上げます。

斎藤先生はRI第2760地区愛知県の豊田ロータリークラブに所属しておられます。整形外科のお医者様であります。豊田ロータリークラブは会員数100名を超え、間もなく創立60周年を迎える名門クラブであります。

先般、1月の国際協議会の直後にサンディエゴで国際ロータリーの理事会が開かれました。私は理事エレクトとしてバックベンチ、理事会の後ろの席にオブザーバーとして出席させていただきました。斎藤理事は現役の理事としてご出席されておられました。いつもニコニコと笑顔を絶やさず、舌鋒鋭く、厳しいご意見を発しておられました。イアン・ライズリーRI会長、バリー・ラシン会長エレクトや各国の理事に、日本のロータリーのあり方、斎藤理事ご自身のロータリーに対するお考えを述べておられました。斎藤理事は非常にあたたかく優しいお人柄でありますので理事会メンバー全員が斎藤理事の大ファンであります。笑顔の下に隠された鋭い意見を忘れそうなくらい人々を魅了しておられます。まさに日本を代表するロータリーのリーダーであるといえると思います。

斎藤理事は大変アクティブであります。豊田ロータリークラブにはスキー・温泉同好会というのがあるそうで先日も野沢温泉にスキーに行かれたそうです。今は大変重要なお役職をされておりますから、お怪我がないようにスキーはしないで温泉と雪見酒を楽しまれたということであります。自らハンドルを握って奥様と共に雪山を車を走らせるのがご趣味だそうです。

斎藤理事は年齢的には私より一回り上ですが、心身ともに大変タフでいらっしゃいます。今朝朝食をご一緒させていただきました。お粥を3杯食べた後、3杯おかわりされました。おかゆお茶碗6杯、朝食であります。胃の方もタフでおられます。今日、1時から大合唱が行われますが、理事をお誘いしましたら「僕は三木君の云うことは聞きたくないが、同期の加藤隆久パストガバナーが壇上に上がられるようなら参加してもいいよ」と大変優しく言葉をかけてくださいました。私が尊敬する大好きな先輩、斎藤理事にご挨拶をいただきます。よろしく願いいたします。



〔RI理事挨拶〕



RI 理事
齋藤 直美
(豊 田)

本日は地区大会の開催、誠におめでとうございます。瀧川ガバナーの地区運営方針にのっとり大会が進められますこと、そして神戸西ロータリークラブの皆様方のご尽力に多大の敬意を表します。

現在理事を務めさせていただいていますが、2016年4月の規定審議会の会議に参加しましたが、その場で採択されましたクラブ運営の柔軟性に衝撃を受けました。またこの1月、国際協議会の後に開催されました理事会では、ロータリー活動の地域性が激しく議論され、この地域性については引き続き6月の理事会まで継続されることになりました。このことはロータリーが確かに変化しようとしていることを示すものと痛感しました。

ロータリーは従来の世界共通のルールでは統率できないようになり、地域ごとの歴史、文化及び生活慣習に基づく社会通念に照した、大胆な組織改革、ルール改定を推し進めないで自壊してしまわないかと思考します。

地区大会は会員の皆様の交流の場ではありますが、同時に世界の流れを感じていただく場でありたいと願うものです。

地区大会の開催、誠におめでとうございます。

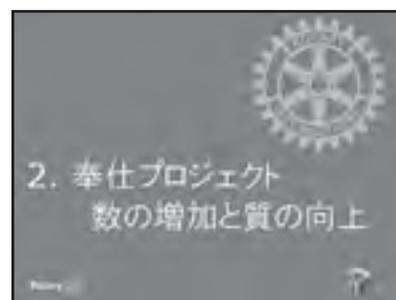
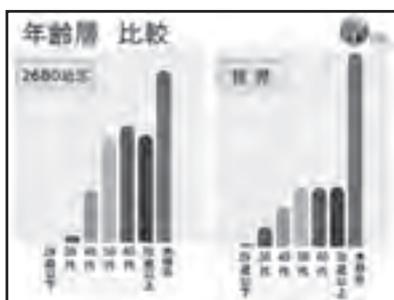




〔ガバナー地区現況報告〕



ガバナー
瀧川 好庸
(神戸西)



年齢層ですが、世界と当地区を比べてみますと、いずれも40代、50代、60代、70歳以上で山ができていますが、30代、29歳以下が世界に多く、当地区では少ないのがわかります。

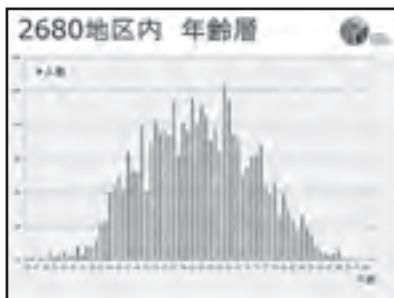
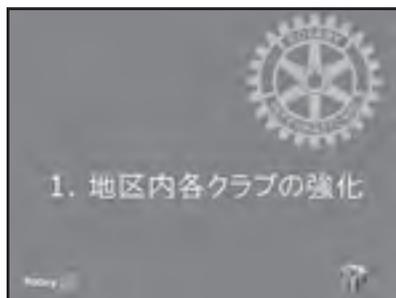
- ### 地区の活動方針
- 1. 各クラブの強化
 - 2. 奉仕プロジェクト数の増加と質の向上
 - 3. ロータリーのイメージ向上と認知
 - 4. オンラインツールの利用
 - 5. ひとり本の植樹運動
 - 6. クロスプロモーション
 - 7. 活動方針と予算化

地区補助金

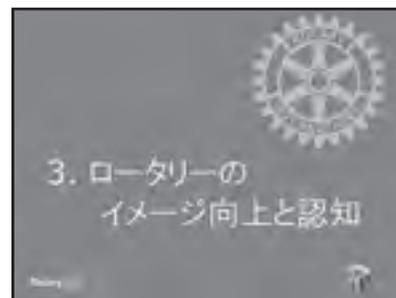
過去5年の実施クラブ数

2013-14年度	25
2014-15年度	17
2015-16年度	19
2016-17年度	24
2017-18年度	28
今年度の申請数	49

今年度、クラブが申請した地区補助金奉仕プロジェクトは、28件。昨年に比べ4件増加。地域あればこそそのロータリークラブ。地域ニーズのさらなる掘り起こしをお願いいたします。



小さくて申し訳ありませんが、左側が20代、右に行くにつれて年齢が高くなりますが、一番飛び出ているのが68歳です。平均年齢は約62歳です。引き続き、若年層、そして女性会員、特にローターアクトへの働きかけが必要。



地区の現状

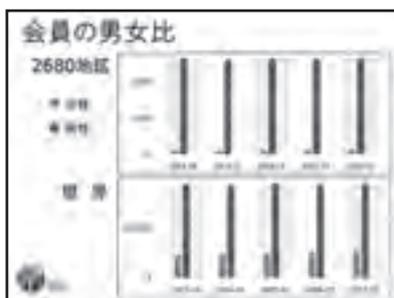
2018.1.31

クラブ数: 73クラブ

会員数: 2,825名

うち男性 2,705名

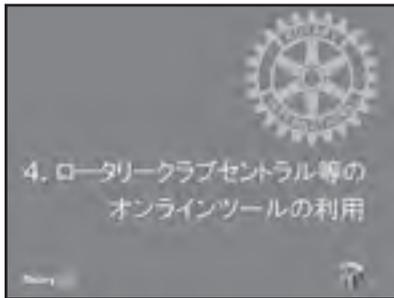
女性 120名



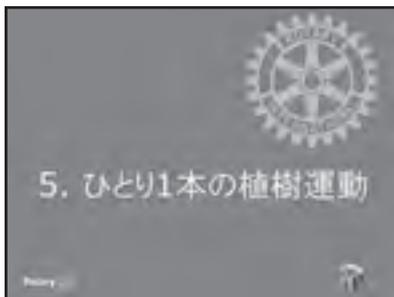
クラブ数は、現状維持の73。会員数は、1月末現在2792名。うち女性会員120名。世界での女性会員が当地区よりずっと多いことに気づきます。



ポリオ撲滅を掲げ、神戸まつりでのパレードに参加。
100人程度の幼稚園児と高校生のマーチングバンドが先導をつとめます。



まだまだ十分とは言えない。さらなる浸透が望まれますが、少しずつ登録率は上がっていくとされます。



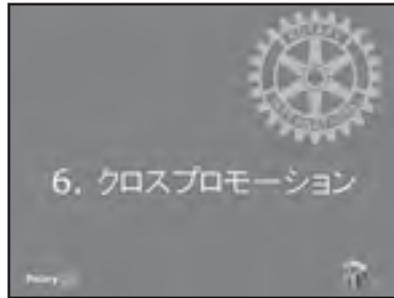
RI会長方針。地区としても実施の方向。



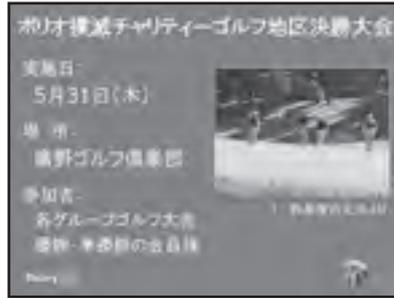
柏原RCと宝塚・宝塚武庫川・宝塚中RC・HYOGO Eクラブの例



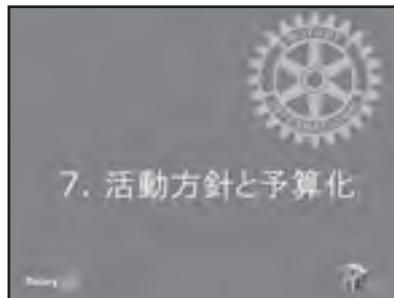
多くのクラブが実施してくれています。地区でも5月にと考えています。



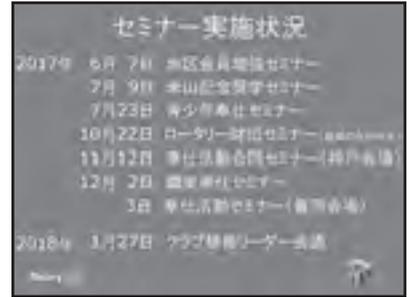
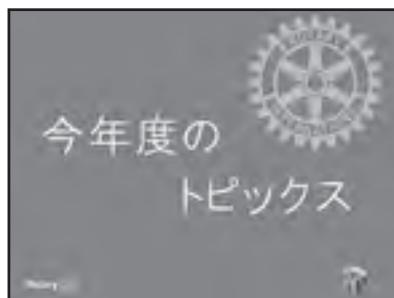
クラブ間交流。委員会関係の協働。社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕各委員会を奉仕プロジェクト委員会として統合し、比較的順調に推移。



各グループでポリオ・チャリティゴルフコンペの開催をお願いしました。13グループから優勝・準優勝の方にお集まりいただいて、地区グラウンドコンペを開催し、集まった浄財をポリオプラスにお送りします。



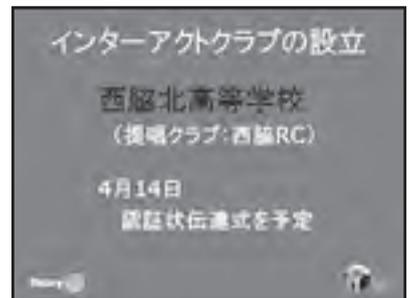
地区委員活動については、年度前の活動方針計画、それに伴う予算化が十分になされているとは思えませんが、地区資金逼迫の折から、さらなる推進の必要性があります。



昨年、全国からロータリー財団奨学生が一堂に集い、2日間にわたり総会と懇親会を開催しました。RIのロータリー学友会代表のビル・リンツ氏を含めて各地区代表68名が参集。



全国から、北は釧路RC、南は那覇西RC、25地区、総勢150名を超えるロータリアン、RYLA学友が参加しました。RYLAについて改めて勉強し、認識を新たにしました。



まだ認証状は伝達していませんが、新たにロータリーファミリーとして27校目のインターアクトクラブが設立されました。



姫路ロータリーアクトクラブの会員1名が参加し、大きな感銘を受けたようです。



〔みんなで歌おう喜びの歌～ロータリー大合唱～ ロータリーの友情と輪 ～世界をつなぐ～〕

会員とご家族、ロータリーファミリーの有志の皆様による混声合唱です。
150名近い大合唱団になりました。合同練習を積み重ねた歌声を披露します。

●参加者の皆様 (ご家族・ロータリーファミリーを含む)

2018.2.25現在

尼崎西	石井 良昌		
尼崎南	久保 恭利		
伊丹有明	備藤 晋二	小山 隆	津谷 功
	池田 道子	上山貴栄子	北里富美子
	斉藤加代子	谷口 郁代	津谷 公代
	田 恭子	野村 晶子	山口 昌子
	山中 孝子	吉川 恵子	山口 茜
	備藤 裕子		
西宮	瀬戸 徹		
芦屋	永井 譲	永井 和子	宮本 陽子
甲子園	泉 規子	井上 晃一	大高 秀哉
	今井 政子	森下 暁里	小倉 照代
	廣瀬 由起	村田つや子	前德基久子
	杉本 経子	中川 尚美	村越 由美
	岸上 和代	北村恵美子	
西宮夙川	長谷川純一	長谷川明美	山本 正二
	山本 和子	赤木 幸子	
西宮恵美寿	浜田伸二郎	大江与喜子	北島 千恵
	讚井 和則	伊藤八重子	浜田 啓子
	伊賀 友枝	吉田 真弓	深谷 俊彦
篠山	廣田 実光	飯田 天祥	井上 高文
	河合 岳雄	河合 迪雄	小林 常郎
	大前 裕樹	栗山 泰三	満仲 諦雅
	西尾 昭	田中 義治	吉田 正雄
	河合 芳子	河合多加子	木戸 雅子
	満仲 弘恵	栗山喜美代	大西 慧子
	山内由紀子	廣田由香里	今井 律子
	井本美由紀	小南 智恵	
柏原	富田 博重		
宝塚中	馬場 和代	榎野 稔	田村 久子
	田辺朱希美	野木 久子	
HYOGO REC	堤 万佐子	吉井久美子	
神戸東	加藤 隆久		
神戸東	久野 薫	榎原 志朗	植村 孝一
	塚本 哲夫	工藤 恭隆	森本 一裕
	山崎 仁嗣	吉田 博	関本 剛
神戸南	米谷 取	石丸鐵太郎	
神戸西	谷水 清司	土居 丈治	今津 成生
	梶 宏昭	小山 武	武田 寿子
	瀧川 博司	飯田美奈子	飯田 俊幸
	藪本 和法	藪本久美子	山地 宣子
	多田 秀子		
神戸西神	工藤 涼二	西藤 隆弘	山下 展成
明石西	日下 孝明	佐々木志朗	瀬川勝太郎
	藪田 亘康	阪田 真也	福永 博一
	宮崎 年容	北野 学	松田 洋子
	松田 千尋	濱端 俊	
明石北	吉田 実盛		
加古川	中村 尚義	中村 美穂	糟谷 敬子
洲本	鈴木 道子	秦 紳一郎	木村 一郎
	不動 正章	横井 哲行	磯崎ふさ子
	三木 明	英 和夫	日下部 聡
姫路東	柚木 慧莉		
赤穂	前田 順子		
相生	富田 裕子		
龍野	圓尾 美佳		
篠山プロバスクラブ	畑尾 芳彦	草間 隆	高井真知子
ロータリー射団友	古山 浩也		

(順不同)

●プログラム

ナレーション：飯田美奈子

歓喜の歌・ふるさとの四季

花	武島羽衣 作詞／滝廉太郎 作曲	合唱
花の街	江間章子 作詞／團伊玖磨 作曲	合唱
叱られて	清水かつら 作詞／弘田龍太郎 作曲	合唱
赤とんぼ	三木露風 作詞／山田耕筰 作曲	合唱
故郷	高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲	合唱
ベートベン交響曲「第九」第四楽章より		
「歓喜の歌」(抜粋)		
合唱		
歌		
荒城の月	土井晩翠 作詞／瀧廉太郎 作曲	泉 規子
おゝひばり	メンデルスゾーン 作曲	飯田美奈子 古山 浩也
そこにあなたがいてくださることは		
野呂昶 作詞／伊藤康英 作曲 永井 和子		
からたちの花	北原白秋 作詞／山田耕筰 作曲	永井 和子
.....		
指揮	朝比奈千足	
ピアノ	永井 譲 多田 秀子	
合唱指導	古山 浩也 泉 規子 飯田美奈子	



〔吹奏楽演奏〕



滝川第二高等学校吹奏楽部

みなさまこんにちは！ 滝川第二高校吹奏楽部“ラデュール”（※ラデュールとはフランス語で情熱を表す言葉で、マーチングの時のチーム名としています）です。私たちの学校は神戸市西区の西端に位置し、豊かな自然と広大な敷地の中にあります。

吹奏楽部の活動は、年1回の定期演奏会を始め、コンクールや依頼演奏など様々な演奏の機会を頂いており、常に「感謝の気持ちを大切に」をモットーとして、演奏できる喜びと、私たちを支えてくださる全ての方々に感謝し、情熱を持って日々努力しております。今年度（平成29年度）は8月の関西吹奏楽コンクールでは金賞を受賞し、11月の大阪城ホールで行われました第30回全日本マーチングコンテストでも金賞を頂くことができました。

本日は、皆様に楽しんで頂けるよう精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。





〔記念講演 「アメリカと世界」〕



元駐米大使
一般社団法人日米協会会長
NHK 国際放送番組審議会委員長
藤崎 一郎 氏

〈プロフィール〉

1969年外務省入省。在インドネシア大使館、OECD代表部、在英大使館、アジア局、在米大使館勤務などを経て、1999年北米局長、2002年外務審議官、2005年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使、2008年駐米大使、2012年退官。現在、一般社団法人日米協会会長、NHK国際放送番組審議会委員長などを務める。慶應義塾大学、ブラウン大学、スタンフォード大学院、英国国際戦略研究所にて学ぶ。

トランプ政権になり益々関心が高まるアメリカと世界との関わり。そして最近注目を集めている北朝鮮など、今までとは変わってきた国際情勢についてわかりやすく説明していただいた。トランプが選挙に勝利したのには見えてこない事情がある、アメリカにおいて三権分立が本当に機能するのかなど長く日米大使をされた藤崎氏だからこそ語れる興味深いお話をしていただいた。



〔大会特別委員会報告〕

大会登録委員会報告



大会登録副委員長
小山 武 (神戸西)

大会登録委員会よりご報告申し上げます。
本地区大会の登録者総数は、3月8日現在で、1,973名
でございます。

その内訳は、

ご来賓 14名、

地区外ロータリアンならびにそのご家族 23名、

地区内ロータリアンならびにそのご家族 1,902名、

プロバスクラブ会員 34名、

でございます。

そして、その他にも関係の皆さま方といたしまして、イン
ターアクトクラブ、ローターアクトクラブなどロータリー
ファミリー、また各学友会の皆さまなど、多数の登録、参
加をいただいております。

あらためまして、皆さま方の厚い友情に感謝し、大会
登録委員会からのご報告とさせていただきます。ありが
とうございました。

大会信任状委員会報告



大会信任状委員長
室津 義定 (尼崎中)

大会信任状委員会よりご報告申し上げます。

地区内73ロータリークラブから信任状が提出され過
日精査いたしました。

それに基づき、昨日13時より委員会を開催し、73ロー
タリークラブ116人の皆様がいずれも国際ロータリー細
則第16条050.1項に対し、適正に選任されていることを
確認いたしました。ここにご報告いたします。

大会決議案上程



大会決議委員長
丸尾 研一 (神戸西神)

大会決議委員会から、本大会の大会決議案を上程
させていただきます。

決議案はパンフレットの30ページから33ページに
記載されております通り、第1号から10号までござい
ます。

以上、上程させていただきます。

大会決議案採択



ガバナー
瀧川 好庸 (神戸西)

ただいま上程されました決議案に対して賛同の方は拍手
をお願いいたします。(拍手)

決議案は皆様のご賛同により採択されました。ご協力あ
りがとうございました。

ガバナー指名委員会報告



ガバナー指名委員長
石丸 鐵太郎 (神戸南)

ガバナー指名委員会よりご報告申し上げます。

ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第14条、
第20項の規定に基づきまして、国際ロータリー第2680地
区の2020-21年度ガバナー候補者として、西脇ロータリー
クラブの高瀬英夫会員を、指名いたしました。

その結果をガバナーに報告いたしました。



地区大会決議

決議第1号

国際ロータリー会長イアン H. S. ライズリー氏の2017-2018年度のテーマに協力する件

国際ロータリー会長イアン H. S. ライズリー氏は、本年度のRIテーマとして「ロータリー：変化をもたらす」“ROTARY: MAKING A DIFFERENCE”を掲げ、呼びかけている。すべてのロータリアンは、この大会を機にさらに決意を新たにし、積極的に会長のテーマを推進、協力することをここに決議する。

決議第2号

国際ロータリー会長イアン H. S. ライズリー氏に対し、木下 光一RI会長代理の派遣に感謝する件

本大会の開催にあたり、国際ロータリー会長 イアン H. S. ライズリー氏は、木下光一氏をRI会長代理として派遣された。我々は、イアン H. S. ライズリー会長のご好意とご配慮に対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第3号

国際ロータリー会長代理 木下光一氏に感謝する件

木下光一氏は、国際ロータリー会長代理として本大会にご臨席くださり、イアン H. S. ライズリー会長のメッセージを伝達されるとともに、有意義かつ感動的なメッセージを述べられ、本大会をきわめて意義あるものにされた。我々は、RI会長代理 木下光一氏に対し、心から厚く感謝の意を表することをここに決議する。

決議第4号

国際ロータリー第2680地区直前ガバナー室津義定氏への感謝の件

直前ガバナー室津義定氏は、2016-2017年度ガバナー在任中、国際ロータリー会長ジョン F. ジャーム氏のテーマ「人類に奉仕するロータリー」“Rotary Serving Humanity”の趣旨に従い、熱心かつ誠実に地区の運営に尽力し、ロータリーの発展のために大きな貢献をされた。よって、我々は、同氏のご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表することをここに決議する。

決議第5号

ポリオ撲滅活動に協力する件

当地区は、イアン H. S. ライズリー会長が示された本年度のテーマに沿い、ロータリー精神を高揚し、「歴史をつくるカウントダウン」のスローガンを掲げ、世界中の子どもたちに夢と希望をもたらすポリオ撲滅活動を推進することをここに決議する。

決議第6号

青少年交換特別会計規定に特別会計の用途を追加する件

(特別会計の用途) 第4条1. 2) 語学研修およびオリエンテーション等に関する費用を追加し改正することをここに決議する。

決議第7号

2018年トロント国際大会に参加協力する件

2018年6月23日から27日まで、トロントで開催される国際大会が有意義かつ成功裏に終わるよう、積極的に参加し、協力することをここに決議する。

決議第8号

本大会開催に当たって、兵庫県および神戸市、ならびに関係諸団体に対する感謝の件

本大会開催に当たって、兵庫県および神戸市、ならびに諸関係団体から賜ったロータリーに対する深いご理解とご協力に対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第9号

本大会ホストクラブに対する感謝の件

本大会が、地区内外より多数の参加者を得て盛大に開催されたことは、ひとえにホストクラブである神戸西ロータリークラブ会員の、長期にわたる周到な準備と献身的なご努力の賜物である。よって本大会は、これらの会員に対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第10号

次年度地区大会開催に関する件

2018-2019年度国際ロータリー第2680地区 地区大会を、加古川中央ロータリークラブをホストとし、高砂ロータリークラブ、加古川ロータリークラブ、高砂青松ロータリークラブ、加古川平成ロータリークラブをコ・ホストとして、2019年3月23日・24日の両日において、加古川市で開催することをここに決議する。

【改訂版】

国際ロータリー第2680地区 青少年交換特別会計規定

第1条 (設立の目的)

ロータリー青少年交換活動を持続的に実施し、その財務管理を行うための青少年交換特別会計を、国際ロータリー第2680地区 (以下、単に「地区」という。) に設立する。

第2条 (名称)

本特別会計は、「国際ロータリー第2680地区青少年交換特別会計」と称する。

第3条 (財産)

1. 本特別会計は以下の財産を持って構成する。
 - 1) 地区会計よりの拠出金
 - 2) 本特別会計の運用収益
 - 3) 本特別会計の目的に賛同してなされる金銭によってなされた寄付
2. 本会計の財産を構成するために地区会計から拠出する金額は、毎年、ガバナーが決定する。

第4条 (特別会計の使途)

1. 本特別会計の使途は以下の通りとする。
 - 1) 青少年交換活動でクラブ支援にかかる費用
 - 2) 語学研修およびオリエンテーション等に関する費用

第5条 (特別会計の管理等)

1. 本特別会計の管理、使用、運営は、財務委員会と青少年交換委員会が共同で行う。
2. 本会計は、特別会計とし、一般会計と区分した預金、その他の方法で管理する。

第6条 (特別会計からの支出)

青少年交換委員長及び財務委員会の委員、あるいはその代理人を署名人とすることを必須条件とする。

第7条 (予算の作成)

青少年交換委員会は予算を作成し、ガバナー及び財務委員会に提出し、承認を得なければならない。

第8条 (報告書の提出)

青少年交換委員会と地区の会計担当者は青少年交換に関する財務報告を作成し、半期毎にガバナーに報告書を提出しなければならない。

第9条 (承認・改正)

本規定は、地区大会、若しくは、地区立法案検討会における決議をもって承認し、改正することができる。

第10条 (準拠)

本規定は、ロータリー章典41.070.6.地区青少年交換の財務に準拠する。

2017年5月20日に制定

【附 則】

この規定は、2017年7月1日より施行する。

(2018.3.11 2017-18年度地区大会決議で改正)



〔ガバナーエレクト挨拶〕



ガバナーエレクト

矢野 宗司

(加古川中央)

2017-18年度の地区大会が、瀧川好庸ガバナーのもと、木下光一RI会長代理ご夫妻、並びに多くのご来賓のご臨席を賜る中、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

本年度の地区大会は瀧川ガバナーが、会員の積極的参加に重点を置いた、例年とは趣向の異なった楽しい大会となっています。とりわけ150名もの有志による合唱は圧巻であり、ロータリーの素晴らしさを改めて実感致しました。

イアン H. S. ライズリーRI会長は、ROTARY: MAKING A DIFFERENCE (ロータリー: 変化をもたらす) をテーマに掲げられました。ロータリーは奉仕の理念のもと、地域社会に、そして国際社会に大きな変化をもたらしてきました。

とりわけポリオ撲滅においては、1988年に毎年35万件あった発症数が、今や20数件にまで減少しました。素晴らしい偉業の達成まであともう少しです。

外への変化と共にロータリーはその内においても変化を遂げて来ました。特に2016年のロータリーの柔軟性に主眼を置いた規定審議会による変化は日本のロータリーにとって大きな波紋を呼びました。RIと日本のロータリーとの乖離を懸念する声も聞こえますが、ロータリーを愛する日本のロータリアンとしては、この課題を克服しながらロータリーの魅力を失わないように努めることが肝要と言えます。

本年度も3分の2が過ぎました。その間、瀧川ガバナーはガバナー月信に広告を導入したり、ポリオ基金のためのグループごとのチャリティ事業を実施するなどの様々な新しい試みをされてきています。ガバナーをしっかり支える矢坂代表幹事の心配り、そして、ロータリーの理念を踏まえた研修を情熱的に進めてこられた中村地区研修リーダー、この素晴らしいトライアングルを私はうらやましく拝見してきました。

ところで、ノミニーの時からずっとご一緒させていただいた瀧川ガバナー、室津直前ガバナーと私には共通項があります。いずれも名前に「よし」がつきます。私はこれを半ばこじつけではありますが、ロータリーの継続性と言っています。しかしながら同じ「よし」ではありますが、それぞれ漢字が違います。まさしく、多様性であります。それぞれの個性を生かしながら、継続性と多様性を進めていく、これがロータリーのあり方ではないかと思えます。

さて、地区大会と並行して、私も次年度に向けた準備を進めております。本年度の地区運営をしっかり支えてこられた皆様の熱き思いを受け継ぎ、微力ではありますが、「地区への奉仕」に努める所存であります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

〔ガバナーノミニ一挨拶〕



ガバナーノミニ一

浅木 幸雄

(神戸)

昨年の地区大会で、ガバナー指名委員長の久野薫バスターガバナーより2019-20年度ガバナー予定者に指名いただきました、神戸RCの浅木幸雄でございます。私はそのような器ではございませんが、お断りできなくなり、この様な大役をお引き受けすることになりました。どうぞよろしく願いいたします。

現在は、瀧川好庸ガバナーと矢野宗司ガバナーエレクトのもと、ガバナーノミニ一として研修させていただいております。

私は32歳で神戸RCに入会させていただきましてから、もう44年になりますが、事業にそして人生に良き指導を受け、多くの友人にも巡り会えました。そのご恩返しのつもりで、この素晴らしいロータリーの道場に入り直し、勉強しながら奉仕させていただくつもりです。ロータリークラブの皆様、そしてロータリーファミリーの皆様の温かいご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

少し古い話になりますが、1989年、飯尾精ガバナー年度に、ロータリー財団のGSE（研究グループ交換）プログラムで、この地区から選ばれた若い5人の職業人のチームリーダーとして、163地区（現1630地区）、ベルギー、ルクセンブルクで38日間、国際奉仕をまいりました。当時のRI会長はHugh Maurice Archerさんで、会長テーマは「Enjoy Rotary」「ロータリーを楽しもう」でした。我々もロータリーを通じて大いに楽しみ、学んでまいりました。私は若人の力強いアクティビティを見て楽しみました。

2680地区は現在73クラブ、会員数は2,800名強で、以前から比べると少し減少しています。若いメンバーや女性メンバーも加えてもう少し会員数が増えれば良いと思っています。私は皆様とともにロータリーを楽しんで参ります。よろしく願いいたします。





〔参加クラブ代表挨拶〕



神戸 RC 会長

中野 正徳

(神戸)

ご紹介いただきました、神戸ロータリークラブ会長の中野と申します。僭越ながら、参加クラブ代表としてご挨拶させていただきます。まず、本大会での数々の示唆に富むお話をもって私たちを導いてくださった木下RI会長代理をはじめとする講師の皆様、また遠方からお越しくださって本大会に花を添えてくださったご来賓の皆様にご心から御礼申し上げます。また、瀧川ガバナーはじめ瀧川ガバナーの方針を受けて「みんなで楽しむ地区大会」をモットーに、この日のために万端の準備を進めて来られたホストクラブである神戸西ロータリークラブの皆様へ、心から感謝申し上げます。本日こうしてここに、2680地区ロータリアンの一人として、多数の仲間たちとの親睦の和を楽しみながらロータリーを学ぶ機会を得たことに、この上ない喜びを感じています。

本日の本会議では、木下RI会長代理から、イアンH.S.ライズリー会長の方針とロータリーの現況について詳らかに伺わせていただき、我々は今何を求められているのかをよく知ることが出来ました。ご提示の「RI会長賞を地区の50%のクラブで」という目標は、とてもクリア出来そうにない高いハードルですが、残り3か月間、瀧川ガバナーの方針のもと、些かなりともご期待に沿えるよう努力して参りたいと思います。続く日米協会の藤崎会長のご講演では、複雑な北朝鮮とアメリカの関係、また世界の最強国アメリカの本質から今を読み解いていただき、貴重な知見を得ることが出来ました。

ロータリーを学ぶということでは、私は昨日の指導者育成セミナーから、強いインパクトを受けました。あらためてロータリーとは何ぞやということを考え、ロータリーにおける私自身の役割や心構えを自覚する貴重な機会となりました。RI研修リーダーでいらしゃった足立パストガバナーの講話から、特に心に残ったことばは、「ロータリーとは規則ではなく、会員がなした成果である」ということばでした。そして、「ロータリーの第一の仕事は、人を作ること」とも説かれ、ロータリーの未来を念頭に「若者たちのための変革したクラブ」を世に残すことを、提唱されました。また、木下RI会長代理は、「もっとも効果的に、継続的に成果をあげる」ことがリーダーの役割とご教示くださいました。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」というロータリーの先人のことばがあります。私は、この地区大会で学ばせていただいたことをクラブに持ち帰り、あらためて仲間のロータリアンとともに、クラブのあり方を模索しながら、効果的、継続的に奉仕の実践に努めたいと思います。

ここ数年、日本の産業界においては数々の不祥事が後を絶ちません。昨日の研修では、“高潔性”ということばが何度か出てきました。また木下RI会長代理は、会長・幹事会の冒頭のご挨拶のなかで、「ロータリーは国や社会の良心」とおっしゃいました。私たちは明日からまた、ロータリアンであることの誇りと喜びを胸に秘めつつ、なおかつ奢ることなく謙虚にコツコツと奉仕活動に取り組んでまいります。最後に、あらためて関係の皆様へ感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

〔次年度ホストクラブ挨拶〕



次期代表幹事

多木 有一

(加古川中央)

皆様こんにちは。

次年度代表幹事を務めます多木有一です。次年度ホストクラブである加古川中央ロータリークラブを代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

本年度、瀧川ガバナーの「みんなで楽しもうロータリー」のもと、昨日そして本日の本会議と、2日間にわたり盛大に、「本当に楽しく」充実した地区大会が開催されましたこと、敬意を表すと共に心よりお祝い申し上げます。特に150名のロータリアンによる合唱と滝川第二高等学校吹奏楽部の演奏に感動いたしました。

さて、私ども、加古川中央ロータリークラブは、1973年10月、加古川ロータリークラブを親クラブとして設立されました。次年度で45周年を迎えるクラブです。チャーターメンバーは32人、2018年3月現在で59名となっています。次年度は、矢野ガバナーを擁し、加古川中央ロータリークラブがホストクラブを承ることになりました。当クラブとしては創立45周年目にして初めてのガバナー輩出となります。加古川地区と致しましても、加古川ロータリークラブの神木パストガバナー以来、30年ぶりのガバナー輩出です。加古川中央ロータリークラブの一員として光栄の限りでございます。

矢野ガバナー年度は、平成から新時代へのレールをつなぐ年にあたります。新時代への中継点のプラットフォームに立ち、今一度、ロータリークラブの来た道、進む道を皆様と共に考えて行きたいと存じます。コ・ホストクラブを引き受けていただいた高砂、加古川、高砂青松、加古川平成ロータリークラブの会員の皆様のみならず、地区の会員の皆様にも何かとご協力お願いいたします。

本日、2019年3月23日、24日の両日の地区大会を加古川にて開催させて頂くことを決議頂きました。加古川市は兵庫県南部の播磨灘に面し、一級河川「加古川」の水に恩恵を受けて発展した街です。古き良き昭和の味『かつめし』、黒田官兵衛を陰で支えた『てる姫』のイメージキャラクターがあるところです。矢野年度はピンクのネクタイに、てる姫ちゃんがあります。

各クラブからお一人でも多くのご参加をお願い致します。メンバー一同、本日出席の皆様と再びお会いできることを楽しみにしております。

次年度地区大会の決意を表明し、皆様のより一層のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日は、ありがとうございます。



〔RI 会長代理所感〕



RI 会長代理
木下 光一
(大分城西)

本地区大会の所感を述べさせていただきます。まず最初に本地区大会の準備をされて来られました瀧川ガバナー、村野実行委員長はじめ地区チームの皆さん、ホストクラブを務められました神戸西ロータリークラブの皆様方、素晴らしい大会を準備していただきまして誠にありがとうございました。

本大会では会長幹事会で必要な承認がきちんと行われ、また地区指導者育成セミナーにおいて有益な研修がなされましたことを確認いたしました。さらにローターアクト、インターアクト等、ロータリーファミリーの皆様方の集いが開催され、若い人たちが交流をされている姿に感銘を受けたものであります。

本会議は格調高く、かつ温かい雰囲気の中で開催され、そこには様々な学びが盛り込まれていました。午後の部は会員参加のコーラス、その中でも喜びの歌の大合唱で幕を開け、参加者が本当に一つになって会場を盛り上げることができました。記念講演も大変興味深いテーマについて元駐米大使藤崎一郎先生がお話をされるという意義深いものでした。表彰式も超我の奉仕賞の授与もあり、思い出に残るものでした。ガバナーの地区の現況報告も詳細に行われ、会員を勇気づけるものとなりました。

以上、本地区大会の全てに亘って十分に準備をされた素晴らしい大会であったという感想をもってRI会長代理の所感といたします。ありがとうございました。



〔ガバナー謝辞〕



ガバナー

瀧川 好庸

(神戸西)

兵庫県知事井戸敏三様、神戸市長久元喜造様のご臨席を得て開催されました、国際ロータリー第2680地区の2017-18年度地区大会も閉幕のときを迎えました。

何よりもまず、1900名からの会員をはじめとする皆様のご参加に、感謝の言葉を申し述べなければなりません。皆様のご協力がなければこの地区大会も開催することができませんでした。ありがとうございました。

次いで感謝の言葉を申し上げなければならないのは、国際ロータリー会長イアン・ライズリー氏の会長代理を務めてくださいました、2720地区のバスターガバナー、木下光一様（大分城西）に対してであります。

さらには地区指導者育成セミナーで力のこもった特別講話をしてくださいました足立功一様（釧路北）、また当地区研修リーダーであります中村尚義様（洲本）にも感謝の思いが募ります。

そしてRI理事の斎藤直美様（豊田）、三木明RI理事エレクトご夫妻（姫路）、会長代理のエイドをお願い申しあげました柴田整宏様ご夫妻（西宮夙川）、そして大会実行委員長を務めてくださいました村野利昭会員（神戸西）とホストクラブ会長の堺充廣会員（神戸西）をはじめとして、いかなくその実力を発揮してくれた私の同僚、神戸西ロータリークラブの会員の皆様、こうした方々にも心からの御礼を申し上げます。

今年度の地区大会のモットーは「みんなで楽しむ地区大会」でした。その代表的な姿が、あの150人からの大合唱団による「みんなで歌おう喜びの歌」でした。著名な朝比奈千足様（大阪）にタクトをお願いし、永井譲様（芦屋）のピアノ伴奏もあり、飯田美奈子会員（神戸西）の見事な指導を得て、満席の会場と共に「故郷」も歌いました。ご出演いただいたバスターガバナーの皆様をはじめとして、各クラブの会員の皆様、またご家族、ロータリーファミリーの皆様のご協力に感謝申し上げます。

滝川第二高校の吹奏楽も素晴らしい音色で会場を魅了し、元駐米大使、藤崎一郎様には記念として「アメリカと世界」と題してご講演をいただきました。

最後を締めくくった大懇親会では、往年の若者であった私たちの心を騒がせた懐かしのグループサウンドに酔いしれ、多くの皆様が歌い踊りました。皆様お疲れさまでした。

このように、どれほど多くの皆様に感謝申し上げなければならないかわからないほどの多くの方々のお力により、この大会は挙行されました。

そして、裏方に徹して面倒なすべての準備をしてくれた方々もおいででした。矢坂誠徳代表幹事であり山口宰副代表幹事、そして大会のプログラムを担当し当日は楽屋を駆けずり回っていた武井宏之会員、ガバナー事務所の5人の優秀な女性たち、気を遣う司会を引き受けてくれた前田勝彦会員と矢坂まりさん、数え上げたらきりがなほど多くの方が、この地区大会を成功に導こうと一生懸命になってくださいました。

すべての方に深甚の感謝の思いを捧げながら、今ここに、この地区大会の幕を閉じたいと思います。

本当にありがとうございました。



本会議および晩餐会司会者
矢坂 まり

神戸市生まれ。松蔭女子学院大学英米文学科卒業。2012年より独立しフリーアナウンサーとなる。現在スポーツ関連の仕事を中心に活動している。

会員家族懇親会アトラクション

会員参加型の地区大会の締めくくりとして、今年度は、「あの時！ あの頃！ あのメロディー！」に出演いただくボーカルを募集いたしました。懐かしのサウンド「ベンチャーズ」「加山雄三」「グループサウンズ」等のメロディーにのせて、歌自慢の会員が会場を盛り上げます。バックバンドは寺内タケシとブルージーンズの魂を継承する実力派バンド「新美淳一とワイルドハンズ」です。どうぞ最後までお楽しみください。

プログラム

バンド演奏：新美淳一とワイルドハンズ「あの時！ あの頃！ あのメロディー！」

♪ブルーシャッター ジャッキー吉川とブルーコメッツ

♪夜空の星 加山 雄三

♪思い出の渚 ワイルドワンズ

ボーカルの皆様：備藤 晋二（伊丹有明） 瀬戸 徹（西 宮） 堺 充廣（神戸 西）
松田 千尋（明石 北） 小林 洋介（赤 穂） （クラブ順）

新美淳一とワイルドハンズ

1998年バンド結成。NHK-BSバンド天国
2001年熱血オヤジバトル全国大会グランプリを獲得し、ファーストアルバム「やっちゃいました」を発売。
2005年3月には、3rdアルバム/DVD発売。



〔2016-17年度〕

(対象期間：2016年7月1日～2017年6月30日)

RI表彰

会長賞

国際ロータリー第2680地区
篠 山
神 戸

ロータリーアクトクラブ会長賞

神戸ロータリーアクトクラブ (神戸RC提唱)
姫路ロータリーアクトクラブ (姫路RC提唱)

ロータリー財団表彰

ロータリー財団年次寄付 1人当たり寄付額 上位3クラブ

上郡佐用
宝 塚
甲 子 園

ロータリー財団年次寄付 寄付額 上位3クラブ

神 戸 東
神 戸
甲 子 園

100%ロータリー財団寄付クラブ

(全員が寄付分類に関わらず25ドルの寄付をしていて、
1人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブ)

尼 崎 西
尼 崎 中
伊 丹 有 明
川西猪名川
西 宮
芦 屋
甲 子 園
西 宮 夙 川
西 宮 恵 美 寿
宝 塚
三 田
篠 山
柏 原
宝 塚 中
神 戸
神 戸 南
神 戸 六 甲
加 古 川
加 古 川 中 央
小 野 加 東
西 脇

姫 路 中 央
龍 野
香 住
豊 岡 円 山 川

Every Rotarian, Every Year クラブ

(全員が年次寄付へ少なくとも25ドルの寄付をして、
1人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブ)

尼 崎 中
伊 丹 有 明
西 宮
芦 屋
甲 子 園
西 宮 恵 美 寿
宝 塚
三 田
篠 山
柏 原
神 戸 南
神 戸 六 甲
加 古 川
加 古 川 中 央
西 脇
龍 野
香 住

ロータリー財団への寄付

メジャードナー

尼 崎 中	室 津 義 定
尼 崎 西	田 中 毅
宝 塚	福 間 則 博
宝 塚 中	那 須 範 満
神 戸 東	久 野 薫
洲 本	石 濱 義 民
姫 路	三 木 明

ポール・ハリス・ソサエティ

尼 崎 東	小 坂 圭 一	
尼 崎 西	石 井 良 昌	小 出 紀 久 男
	中 島 貴 美 子	中 尾 信 彦
甲 子 園	森 田 道 太 郎	佐 々 木 孝 佳
宝 塚 武 庫 川	大 室 備	
神 戸	井 植 貞 雄	
神 戸 西 神	丸 尾 研 一	



ベネファクター

尼崎南 平井 昌夫
 尼崎中 室津 義定
 芦屋 岩浅 俊朗
 甲子園 佐々木孝佳
 宝塚 福間 則博
 宝塚中 那須 範満
 神戸東 樋口 一哉
 明石南 山根 金造
 小野加東 田村 彰敏
 上郡佐用 井口 洋子 池田 雅子

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

尼崎北 一ノ瀬四郎
 尼崎東 藤井 輝男 小坂 圭一
 内藤 成敏
 尼崎西 康 榮男 小出紀久男
 中島貴美子 田中 毅
 伊丹 西岡 伸明 滝内 秀昭
 川西 北 政十郎
 伊丹有明 阪上 博 辻野 信博
 安井 武義
 芦屋 天王寺谷貴 植田 英規
 山田 正雄 山村 惠造
 甲子園 朝野 恒男 井上 薫嘉
 森 裕司 尾川 一郎
 長部 謙吾
 西宮夙川 贄田 肇 柴田 整宏
 山本 正二
 西宮惠美寿 伊藤八重子 松本 亘
 杉本 欣也 貴田 賢次
 宝塚 福間 則博
 三田 西浦 道雄
 篠山 後藤 幹史 河合 迪雄
 小南 稔彦 大西 仁司
 宝塚武庫川 澤田 容延
 三田南 大前 衛 関口 正人
 宝塚中 中村 敏治
 神戸 乾 英文 濱田 秀世
 西河 紀男 角南 忠昭
 神戸東 樋口 一哉 久野 薫
 高石 昇 横山 幹夫
 神戸東灘 苦瓜 顕一
 神戸南 団 秀和 藤尾 純也
 福田 義信 船木 靖夫
 細谷 俊雄 伊田 昌弘
 飯田 修次 金井 修二
 河野 忠博 木口 豊貫
 松田 茂樹 南 和雄

神戸南 南 孝治 水野 義夫
 村川 勝 内藤 豊彦
 中村 直正 中野 友史
 中谷 紀之 中右 靖雄
 西村 敬三 小田 迪彦
 尾川 議顕 岡本 光央
 大澤 一郎 大月 京一
 阪本 豊起 佐藤 莞爾
 高橋 洋介 瀧川 順
 和田 昇 和田 憲昌
 和田 善弘 吉田 福司
 尤 昭福
 山本 秀憲
 神戸六甲 山本 秀憲
 神戸西 小松原景久 瀧川 好庸
 神戸須磨 益子 和久
 神戸北 山田 博補
 神戸垂水 永田 哲也
 神戸西神 池田 實行
 明石南 伊藤 明彦 山根 金造
 高砂 山本 広志
 加古川 浅原 重利
 加古川中央 長谷川輝幸 川西 正廣
 喜多 美雄 上月 和洋
 西村 雅文 佐野 長治
 矢野 宗司
 高砂青松 濱田 喜重 佐野 栄作
 内海 薫
 三木 片山 真人 岡田 哲治
 矢野 謙
 小野加東 増村 道雄 松井 英樹
 西尾 英昭
 北条 柏原 幸生 西村 道也
 西脇 来住 泰幸 前川 秀一
 高瀬 英夫
 三木みどり 永尾 正範
 洲本 石濱 義民
 淡路三原 登里 康生 興津 博捷
 志智 宣夫 瀧口 洋
 三宅 知行
 姫路 英 和夫
 清水 一太
 中村 滋彦 岡田 兼明
 高島 暢 柳川 芳廣
 安田 宏行
 姫路西 本田真一郎 野瀬 操
 姫路東 常村 武史
 赤穂 梶原 達観
 相生 江見 満 今井 敏之
 栗尾 重徳 森田 文藏
 龍野 藤井 慧乘 井上 英士

〔2016-17年度〕

(対象期間：2016年7月1日～2017年6月30日)

龍野	進藤 栄六	玉越 進	姫路南	斎藤 和美	
	富岡 治彦		姫路西	伊賀 義高	
上郡佐用	深澤 景弘	半田 充	上郡佐用	朝来 忠平	箸蔵 法岳
	小谷 豊	三浦 和泉		影山 裕一	宮本美智子
	森 正春	大岩 敏彦		大澤 直子	田村 栄子
	辻 洋一郎	塚崎 純		谷脇 裕子	寺本 英徳
	山本 孝昭	柳原 義宏		堤 好美	
豊岡	竹中 博司		豊岡	斉藤 彰	
和田山	小山 克志				

ポール・ハリス・フェロー

尼崎東	小畑 充生	
尼崎西	前田 裕幸	
尼崎中	垣添 誠雄	
川西	北川 博崇	三宅 圭一
	竹内 育子	
伊丹有明	池永 明義	
川西猪名川	衣川 文明	
芦屋	玉屋 喜英	
甲子園	中川 尚美	根本 美穂
	寺尾 秀治	山本健之輔
西宮夙川	松岡 繁郎	光造 誠三
宝塚	小早川 優	
宝塚武庫川	奥西 要	
HYOGO REC	原田 仁史	
神戸	木村 卓哉	松岡 辰弥
	中島 洋人	
神戸東	澤田 正樹	横山 幹夫
神戸南	甘中 正樹	小林 寿夫
	松崎 純二	大西 伸治
神戸六甲	山野 仁	
神戸西	奥田 郁三	
神戸西神	石津英一郎	工藤 涼二
	折戸 善信	
明石北	小西 映	宮野 隆
	永井 達也	吹田 佳明
高砂	後藤 純次	大久保義郎
加古川中央	船山 英宣	羽原 正善
	壁 貴義	
高砂青松	松下 和雄	
三木	廣田 篤生	石井 盛久
	小藤 貴雅	
小野加東	後藤 友栄	加納 純一
	河合 孝治	岸本登喜子
北条	堀井 幸恭	丸本 晃
	小川 雅規	酒井 圭子
	高井 誠貴	高瀬 生代
三木みどり	森田須美春	
姫路	城 守	成瀬 広益

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会表彰

米山寄付認証クラブ

- ・6千万円達成クラブ
 - 姫路南
- ・2千万円達成クラブ
 - 尼崎南
 - 神戸西神
 - 淡路三原

米山功労クラブ () 内は表彰回数

尼崎北	(24)
尼崎南	(15)
川西	(14)
伊丹昆陽池	(8)
西宮	(14)
篠山	(26)
宝塚武庫川	(16)
神戸	(40)
神戸東	(27)
神戸東灘	(18)
神戸ベイ	(9)
神戸垂水	(12)
神戸西神	(12)
神戸西神	(13)
明石西	(18)
加古川	(26)
加古川中央	(22)
三木	(22)
小野加東	(24)
北条	(12)
三木みどり	(7)
洲本	(19)
南淡路	(5)
姫路南	(47)
赤穂	(20)



米山功労者メジャードナー (第10回以上)

甲子園 佐々木孝佳 (12)
 篠山 小南稔彦 (14)
 宝塚武庫川 大室 儁 (21)
 神戸 浅井 光昭 (10)
 神戸東 乙守 典厚 (14)
 神戸六甲 山本 秀憲 (12)
 神戸須磨 橋本 一豊 (15) 早水 勝徳 (10)
 神戸西神 丸尾 研一 (30) 河合 敏三 (11)
 三木 宮永 昌明 (12)
 小野加東 増村 道雄 (10)
 西脇 井村 正身 (13)
 洲本 中村 尚義 (11)
 姫路 瀧川 泰久 (11)
 姫路南 後藤 雅一 (12) 岡田 兼明 (10)

米山功労者マルチブル (第2回~第9回)

尼崎 近藤 清 (2)
 尼崎北 菊田孝太郎 (5) 久保 太郎 (3)
 武本 正照 (3)
 尼崎東 田村 征介 (3) 一谷 宣宏 (2)
 松本 勝憲 (2)
 尼崎西 瓶内 侃 (5) 那須 健治 (5)
 智多 昌志 (3) 中島貴美子 (2)
 尼崎南 藤川 忠司 (5) 黒田 佳治 (3)
 山本 正明 (3) 内藤 吉子 (2)
 尼崎中 勝本 敏広 (2) 鈴木 浩巳 (2)
 川西 北 政十郎 (7) 武田 覺 (3)
 伊丹有明 岩崎 健二 (6) 備藤 晋二 (5)
 池永 明義 (4)
 川西猪名川 吉見 二郎 (5) 藤本 幸男 (3)
 伊丹昆陽池 櫻井 章夫 (4)
 西宮 中西 哲生 (2)
 芦屋 杉山 清和 (4) 小野 哲嗣 (2)
 甲子園 森 裕司 (5)
 西宮夙川 柴田 整宏 (4)
 芦屋川 堺 執 (4)
 三田 丹羽 勝 (3)
 篠山 後藤 幹史 (9) 藤本 善一 (8)
 大西 仁司 (5) 河合 岳雄 (2)
 宝塚武庫川 隈下 繁良 (2)
 神戸 前田 盛 (4) 鍛冶川清司 (3)
 中野 正徳 (2) 土橋 達生 (2)
 行吉 誠之 (2)
 神戸東 井元 憲生 (3) 樋口 一哉 (2)
 佐井 奇正 (2)
 神戸六甲 久保田梅継 (8) 坂部 典生 (8)
 東 國隆 (7)
 神戸ベイ 嶺山 洋子 (5)

神戸西 小松原景久 (3)
 神戸須磨 益子 和久 (4) 大内 晋二 (4)
 古閑 次夫 (3) 林 浩嗣 (2)
 神戸垂水 善國 高豊 (6)
 神戸西神 吉川 孝郎 (9) 池田 實行 (4)
 工藤 涼二 (2)
 神戸中 岩崎 重暁 (2)
 明石南 山根 金造 (4) 吉田庄太郎 (4)
 加古川 保地 富夫 (4) 水川 典明 (3)
 落合 英樹 (2) 大庫 隆夫 (2)
 加古川中央 宇田川 隆 (5) 松尾 邦光 (4)
 喜多 美雄 (2) 大西淳滋郎 (2)
 高山 昭則 (2)
 三木 伊藤 英樹 (5) 金鹿 功 (4)
 友定 道介 (2)
 小野加東 西尾 英昭 (5)
 北条 安達 功 (2) 酒井 圭子 (2)
 西脇 前川 秀一 (2)
 洲本 藤井 啓誠 (4) 秦 紳一郎 (2)
 太田 勝之 (2)
 南淡路 竹谷 重弘 (2)
 淡路三原 登里 康生 (2)
 あわじ中央 宮本 昌典 (2)
 姫路 三木 明 (7) 鎌谷 正弘 (2)
 姫路南 藤塚 紳也 (9) 岡田 兼明 (9)
 高島 暢 (8) 水野 智啓 (7)
 内藤 強 (6) 桑田 祥夫 (4)
 毛利 恵行 (4)
 姫路西 田寺 康啓 (7) 吉田 和正 (3)
 新 三郎 (2)
 姫路東 濱田 長伸 (8) 猪子 禮司 (6)
 河野 通一 (6) 久内麻佐行 (3)
 赤穂 梅本 弘幸 (4)
 相生 半田 齊 (3)
 上郡佐用 森 正春 (5) 山本 孝昭 (3)
 池田 雅子 (2)

米山功労者 (第1回)

尼崎北 浅田 勝彦
 尼崎西 杉本 一彦
 尼崎南 久保 恭利 安澤 一能
 尼崎中 垣添 誠雄
 川西 小林 俊康 山岡 英次
 西宮 山村 尚史
 芦屋 山西 康司
 西宮夙川 賛田 肇
 三田 井殿 佳和
 篠山 廣田 実光
 神戸 木下 和彦 森本 泰暢

◆表 彰

〔2016-17年度〕

(対象期間：2016年7月1日～2017年6月30日)

神 戸	村尾憲一郎	竹森 莞爾	篠 山	太野垣勝弘	
神戸東灘	舟元 博	舟元美智子	神 戸	馬場 宏之	福井 要
	石田希世士			池原 伸直	河本 英雄
神戸ベイ	北浦 浩	西山 勝敏		松下 秀司	西本 誠實
	武内隆一郎	吉田 基毅		尾山 基	塔本 均
	渡部 健		神 戸 東	西原興一郎	岡 栄治
神戸西	近田 和裕			田中 健三	
神戸須磨	金井 基広		神戸須磨	合田新一郎	
神戸垂水	藤田 和昭		神戸ベイ	網本 博臣	
神戸西神	石津英一郎	折戸 善信	神戸垂水	橋本 正弘	
	田中 康之		明 石 西	藤田 正敏	濱田 和仁
明 石	藤本 隆水	伊藤 慎介	加 古 川	石川 雄一	中島 浩二
	米澤 元雄			鶴田 彰二	
明 石 北	小西 映	宮野 隆	加古川中央	壁 貴義	宮本鹿司夫
	山口 和俊		三 木	古塚恵太郎	
明 石 南	森 顕三	小川 英紀	小野加東	飯尾 雅人	田口 祐二
	佐藤 昭		洲 本	鶴飼 徹	坂田 幸男
加 古 川	水埜 安寛	大庫 典雄	姫 路	入江 道弘	永井 敬裕
	富田 裕樹		姫 路 東	小倉 克輝	壺阪 康裕
高砂青松	濱中 幹雄				
小野加東	後藤 友栄	加納 純一			
	河合 孝治	岸本登喜子			
	前田 光教				
三木みどり	永尾 正範				
淡路三原	長尾 洋司				
姫 路 南	梅本 伸昌				
姫 路 東	山田 一郎				
赤 穂	西川 英也				
相 生	井出 進	田口 務			
龍 野	本條 昇				
上郡佐用	宮本美智子				
豊 岡	遠藤玄一郎	竹中 博司			
和 田 山	小野山真生				

準米山功労者

尼 崎 北	渥美 充広	岩井 正一
	深海 淳	
尼 崎 東	近 知史	
尼 崎 南	芝 泰雄	
尼 崎 中	垣添 誠雄	
伊 丹	村上 功	
川 西	鴨井 公司	
西 宮	遠藤 剛	藤田 邦夫
	古谷光太郎	覺心平十郎
	澤田 朗	高橋 秀仁
	田中 義人	山本 智
	山本 修士	米倉 康博
芦 屋	高橋 卓志	
篠 山	井本 季伸	石井 祥平

地区表彰

(対象期間：2017年1月1日～2017年12月31日)

在 籍

【60年ロータリー在籍】

加 古 川 神木 董

【50年ロータリー在籍】

尼 崎 北 吉竹 昌之
 神 戸 東 赤木 文生
 加 古 川 大庫 典雄
 小野加東 内藤 正克

100%連続出席

【50年連続出席】

尼 崎 北 吉竹 昌之

【45年連続出席】

神 戸 西 福岡 照記

【40年連続出席】

甲 子 園 佐々木孝佳
 姫 路 安平 和彦
 姫 路 東 沼田 正敏
 豊 岡 小原 實



【35年連続出席】

甲子園	川勝賢一
西脇	八馬康祐
南淡路	坂本哲也
姫路南	水野智啓
姫路東	有末正敏

【30年連続出席】

尼崎東	川口榮一
尼崎西	浦上博隆
川西	来田慎輔
西宮夙川	松本千歳
神戸西	梶宏昭
高砂	庄司治
加古川	長谷川昌美
	浅原重利
高砂青松	西中亮二
三木	戸田一郎
洲本	番所利行
南淡路	土井恵一郎
姫路西	田寺康啓

【25年連続出席】

甲子園	和手甚京
西宮夙川	長谷川純一
	中西教夫
芦屋川	廣瀬幸男
神戸	佐井裕正
明石	市原孝志
加古川	保地富夫
加古川中央	矢野宗司
高砂青松	田中伸明
三木	中橋久史
北条	井上幸三
西脇	陰山亥三男
	藤阪光一
南淡路	槌賀繁
姫路西	藤花義典
姫路東	原孝史
相生	児島良三
豊岡円山川	井上哲郎

【20年連続出席】

尼崎北	武本正照
尼崎東	松本勝憲
篠山	堀口純男
神戸	濱浩一
神戸西	山本博
神戸西神	小西昌則

明石南	川本恭司		
高一	佐野敏晴		
三木	稲見秀穂		
小野加東	平尾博之	西尾英昭	
北条	福永信彦	柏原幸生	
	高橋清文		
西脇	来住泰幸		
姫路南	安田宏行		
神崎	岩崎敬三		
赤穂	八幡昭海	榑努	

〔2017-18年度〕

RI表彰

超我の奉仕賞

尼崎西 中尾信彦

地区表彰

ガバナー賞

豊岡ロータリークラブ
 豊岡総合高等学校インターアクトクラブ
 「インターアクト米事業への取り組み」

ロータリー財団地区奉仕賞

龍野 本條昇

■ご来賓

兵庫県知事	井戸 敏三	
神戸市長	久元 喜造	
RI会長代理ご夫妻	木下 光一・貴鶴	大分城西
RI理事	斎藤 直美	豊田
RI理事エレクトご夫妻	三木 明・千春	姫路
2017年RI研修リーダー	足立 功一	釧路北
2014年RI研修リーダー	小船井修一	釧路
第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターご夫妻	横山 守雄・悦子	大阪中央
第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーターご夫妻	村上 有司・和子	田辺
第3ゾーン恒久基金／大口寄付アドバイザーご夫妻	大室 備・和代	宝塚武庫川
水と衛生のための大口寄付推進計画委員会委員ご夫妻	丸尾 研一・正子	神戸西神
ロータリーの友事務所 所長・理事	渡辺 誠二	東京みなと
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 事務局長	岩邊 俊久	
公益財団法人PHD協会 事務局長	坂西 卓郎	

■地区外ガバナー

2520地区ガバナー令夫人	藤崎智佳子	仙台
2530地区ガバナー令夫人	鈴木 啓子	白河
2540地区ガバナー令夫人	柳谷美喜子	能代
2550地区ガバナー令夫人	太城 廣子	宇都宮東
2570地区ガバナー令夫人	細井 文江	行田さくら
2770地区ガバナー令夫人	大貫 祐子	上尾西
2790地区ガバナー令夫人	寺嶋智津子	柏
2800地区ガバナー	鈴木 一作	寒河江
2820地区ガバナー令夫人	保延 孝子	石岡
2840地区ガバナー令夫人	田中 和美	高崎
2580地区ガバナー令夫人	吉田 麻耶	東京新都心
2590地区ガバナーご夫妻	湯川 孝則・美和子	横浜西
2600地区ガバナー	関 邦則	長野
2630地区ガバナーご夫妻	田山 雅敏・圭子	上野東
2750地区ガバナーご夫妻	猿渡 昌盛・道子	東京武蔵府中
2760地区ガバナーご夫妻	神野 重行・啓子	名古屋名駅
2640地区ガバナーご夫妻	岡本 浩・久子	和歌山城南
2660地区ガバナーご夫妻	片山 勉・偕子	大阪東
2670地区ガバナー令夫人	柳澤 順子	高知東



2700地区ガバナーご夫妻	安増 惇夫・順子	宗像
2710地区ガバナー令夫人	藤中 潤子	岩国中央
2730地区ガバナー	押川 弘巳	宮崎北

■2680地区パストガバナーならびにガバナーエレクト・ガバナーノミニ

パストガバナー	神木 董	加古川
パストガバナーご夫妻	空地 啓一・翠	姫路
パストガバナーご夫妻	松岡 通夫・明子	神戸
パストガバナー	谷水 清司	神戸西
パストガバナー	米谷 収	神戸南
パストガバナーご夫妻	中嶋 邦明・喜代子	甲子園
パストガバナー	赤木 文生	神戸東
パストガバナーご夫妻	安平 和彦・佐千代	姫路
パストガバナーご夫妻	橋本 一豊・トシミ	神戸須磨
パストガバナーご夫妻	石井 良昌・恵美子	尼崎西
パストガバナーご夫妻	加藤 隆久・昌子	神戸
パストガバナーご夫妻	宮本 一・陽子	芦屋
パストガバナーご夫妻	中村 尚義・美穂	洲本
パストガバナーご夫妻	柴田 整宏・恵子	西宮夙川
パストガバナーご夫妻	久野 薫・正子	神戸東
パストガバナー	石丸鐵太郎	神戸南
パストガバナーご夫妻	滝澤 功治・勢子	神戸須磨
直前ガバナーご夫妻	室津 義定・晴美	尼崎中
ガバナーエレクトご夫妻	矢野 宗司・多賀子	加古川中央
ガバナーノミニご夫妻	浅木 幸雄・隆子	神戸

■特別参加者

プロバスクラブ
神戸北プロバスクラブ (すずらん)
垂水プロバスクラブ (ちどり会)
篠山プロバスクラブ (鼓)
姫路南プロバスクラブ (二水会)
淡路プロバスクラブ
インターアクトクラブ
ローターアクトクラブ
RYLA学友会
青少年交換長期来日生
青少年交換長期派遣候補生
青少年交換学友会
ロータリー財団兵庫学友会
米山記念奨学生
米山奨学生学友会 (兵庫)

■地区内参加クラブ

尼崎グループ

ガバナー補佐 荒巻 政文 (尼崎西)		
尼 崎	尼崎北	尼崎東
尼崎西	尼崎南	尼崎中

阪神第1グループ

ガバナー補佐 小林 俊康 (川 西)		
伊 丹	川 西	伊丹有明
川西猪名川	伊丹昆陽池	西宮イブニング

阪神第2グループ

ガバナー補佐 天羽 公夫 (甲子園)		
西 宮	芦 屋	甲子園
西宮夙川	芦屋川	西宮恵美寿

阪神第3グループ

ガバナー補佐 木戸 一統 (宝 塚)		
宝 塚	三 田	篠 山
柏 原	宝塚武庫川	三田南
宝塚中	HYOGO REC	

神戸第1グループ

ガバナー補佐 野田 晴清 (神戸東)		
神 戸	神戸東	神戸東灘
神戸南	神戸六甲	神戸ベイ

神戸第2グループ

ガバナー補佐 松田 洋三 (神戸北)		
神戸西	神戸須磨	神戸北
神戸垂水	神戸西神	神戸中
神戸モーニング		



東播第1グループ

ガバナー補佐 岩永 一哉 (明 石)
明 石 明石西 明石北
明石南

東播第2グループ

ガバナー補佐 庄司 武 (高砂青松)
高 砂 加古川 加古川中央
高砂青松 加古川平成

東播第3グループ

ガバナー補佐 藤本 幸作 (三木みどり)
三 木 小野加東 北 条
西 脇 三木みどり

淡路グループ

ガバナー補佐 興津 博捷 (淡路三原)
洲 本 南淡路 淡路三原
津 名 あわじ中央

西播第1グループ

ガバナー補佐 岡田 和也 (姫路西)
姫 路 姫路南 姫路西
姫路東 神 崎 姫路中央

西播第2グループ

ガバナー補佐 塚崎 純 (上郡佐用)
赤 穂 相 生 龍 野
上郡佐用

但馬グループ

ガバナー補佐 能見洋八郎 (生 野)
豊 岡 生 野 香 住
豊岡円山川 和田山

◆物故会員

(敬称略・グループ順・名誉会員を含む 2017.1.1～12.31現在)



故 庄司 稔氏(尼崎)
享年87歳



故 一ノ瀬四郎氏(尼崎北)
享年85歳



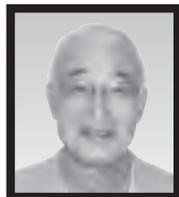
故 久保太郎氏(尼崎北)
享年76歳



故 一谷宣宏氏(尼崎東)
享年73歳



故 西林 孔氏(伊丹昆陽池)
享年84歳



故 佐谷 稔氏(芦屋)
享年82歳



故 森田道太郎氏(甲子園)
享年81歳



故 稲田尚之氏(宝塚武庫川)
享年95歳



故 小曾根 有氏(神戸)
享年86歳



故 高石 昇氏(神戸東)
享年90歳



故 河野忠博氏(神戸南)
享年85歳



故 村田正雄氏(神戸西)
享年92歳



故 井筒 杲氏(明石)
享年82歳



故 吉田庄太郎氏(明石南)
享年93歳



故 吉田直彦氏(三木)
享年87歳



故 大坪修一郎氏(西脇)
享年82歳



故 瀧川好美氏(洲本)
享年80歳



故 西岡能視氏(洲本)
享年75歳



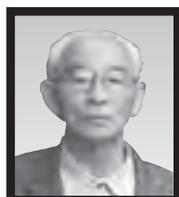
故 林野昭之氏(姫路西)
享年86歳



故 黒田信次氏(相生)
享年82歳



故 玉越 進氏(龍野)
享年90歳



故 堀 謙二氏(龍野)
享年92歳

ありし日のお姿を偲び
謹んで心から哀悼の意を表します



地区大会役員

ガバナー	瀧川 好庸	神戸西
代表幹事	矢坂 誠徳	神戸西
大会実行委員長	村野 利昭	神戸西
大会副実行委員長	梶 宏昭	神戸西

大会登録委員会

委員長	今津 成生	神戸西
副委員長	小山 武	神戸西

大会信任状委員会

委員長	室津 義定	尼崎中
委員	小林 俊康	川西
//	木戸 一統	宝塚
//	松田 洋三	神戸北
//	庄司 武	高砂青松
//	興津 博捷	淡路三原
//	塚崎 純	上郡佐用

大会決議委員会

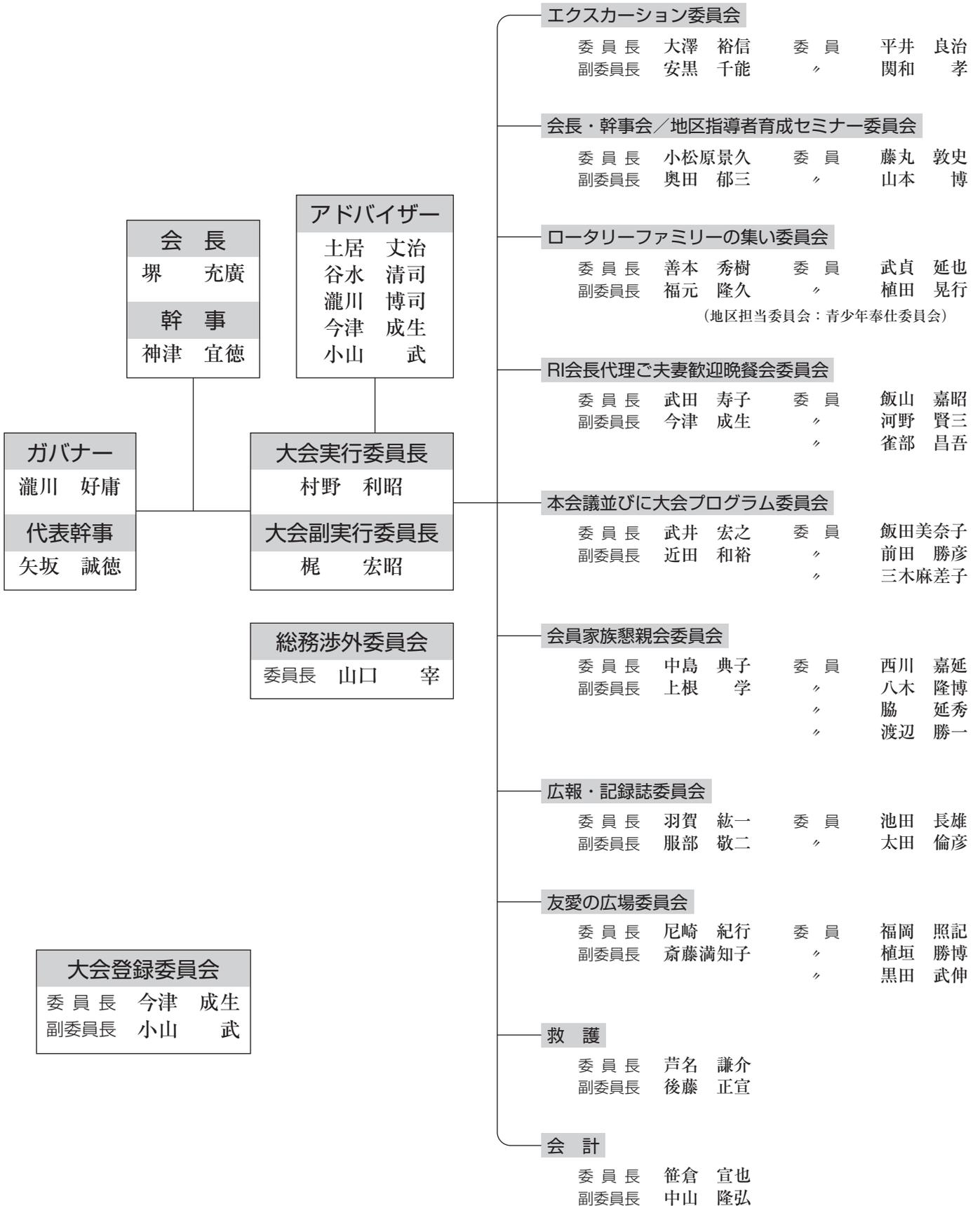
委員長	丸尾 研一	神戸西神
委員	荒巻 政文	尼崎西
//	天羽 公夫	甲子園
//	野田 晴清	神戸東
//	岩永 一哉	明石
//	藤本 幸作	三木みどり
//	岡田 和也	姫路西
//	能見洋八郎	生野

地区資金委員会

委員長	山口 宰	神戸西
委員	佐藤 肇	尼崎中
//	朝家 修	加古川中央

ガバナー指名委員会

委員長	石丸鐵太郎	神戸南
委員	大室 備	宝塚武庫川
//	滝澤 功治	神戸須磨
//	丸尾 研一	神戸西神
//	室津 義定	尼崎中





◆ 編集後記

地区大会記録誌をお届け致します。

3月、春麗の地区大会でしたが、10月、錦秋のご報告となりました。

改めまして、地区大会にご支援・ご協力・ご出席を賜りまして心より御礼を申し上げます。

瀧川年度は、中村地区研修リーダー・室津直前ガバナー・矢野ガバナーエレクトの強力なサポートのもとに運営を致してまいりました。

その集大成としての地区大会は、瀧川ガバナー提案の「楽しい参加型の大会」を目指して、村野実行委員長を中心に神戸西ロータリークラブが一丸となって取り組みましたが、皆様、いかがでしたでしょうか。

RI会長代理は素晴らしいお人柄の木下光一様であったこと、コーラスは華やかで心に響く歌声であったこと…。すべては多くの方々を支えられた賜物です。

参加する立場と、運営する立場は当然かなりの温度差が生じますが、ホストクラブとして、どちらも経験する喜びは格別の思いでした。

このような機会を与えて戴いたことに、私たちは深く感謝を致しております。

そして、矢野年度地区大会へのお力添えをも、何卒宜しくお願い申し上げます。

おわりに

この記録誌によって地区大会の様々な思い出が美しく皆様の心によみがえりますことを…。

拙い編集後記までお読み戴きましたこと、重ねて御礼申し上げます。

ありがとうございましたを 心より。

代表幹事 矢坂 誠徳 (神戸西)

Rotary
District 2680



2017-18年度 国際ロータリー第2680地区 地区大会記録誌

発行 2018年9月30日
 発行者 国際ロータリー第2680地区 地区大会実行委員会
 (神戸西ロータリークラブ)
 編集 地区大会 広報・記録誌作成 担当委員会
 印刷 菱三印刷(株)



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

【ホストクラブ】
神戸西ロータリークラブ

2017-18年度
国際ロータリー第2680地区
地区大会事務局

〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通4-2-12

兵庫トヨタ本社ビル6F

TEL 078-271-2680 FAX 078-271-2681

✉ takikawa2680@cap.ocn.ne.jp

🌐 <http://dist.ri2680.org/>